

Panasonic

パーソナルコンピューター 取扱説明書

品番 CF-M32J8



ご使用前に
使いかた
困ったときは
必要なときに

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
・この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 そのあと保存し、必要なときにお読みください。
・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

ご使用前に

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

🛇	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

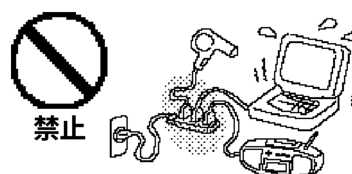
⚠警告

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠警告

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

本機を改造しない また、本書に記載のない方法で分解しない



分解禁止

高電圧に注意
サービスマン以外の方は分解しないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、感電のおそれがあります。

「本体に表示した事項」

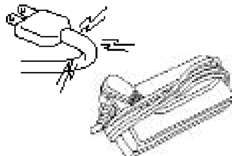
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



禁止



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む





差し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

ご使用前に

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

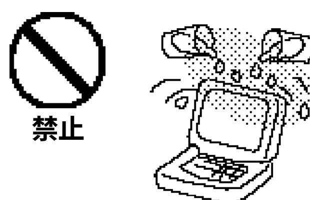
電源プラグを抜く



・本体が破損した　・異臭がする
・本体内に異物が入った
・煙が出ている　・異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
● 異常が起きたらすぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

上に水などの入った容器や金属物を置かない

禁止



水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。
● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

⚠注意

不安定な場所に置かない


禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない


禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10〜15分間の休憩を取る



長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

電源コードは、プラグ部分を持って抜く



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

⚠注意

電源プラグを接続したまま移動しない


禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

● 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

炎天下の車中に長時間放置しない


禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない


禁止

火災・感電の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない


禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

必ず指定のACアダプターを使用する



指定以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

使用上のお願い

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、以下のことに注意してください。

液晶ディスプレイの取り扱い

液晶ディスプレイは衝撃や振動に弱く、破損しやすいため、持ち運びの際には十分ご注意ください。

ハードディスクのデータ保護

●コンピューターに衝撃を与えない。
ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションが使えなくなることがあります。
コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。

●Windows*やアプリケーションソフトの動作中およびHDDアクセスランプ（　）の点灯中は、電源を切らない。

●ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合（故障・変化・消失など）に備えて定期的にバックアップをとる。

●データの機密保護としてセキュリティー機能を活用する。（→43ページ）

* 正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating systemです。本書ではWindowsまたはWindows 98と表記します。

コンピューターウィルス

●最新のウィルスチェックプログラム（市販）を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。

- コンピューターを起動するとき
- データを入手したとき
  フロッピーディスクなどの外部メディアから、またネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ（圧縮されている場合は、圧縮解凍後のファイル）を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

フロッピーディスクのデータ保護

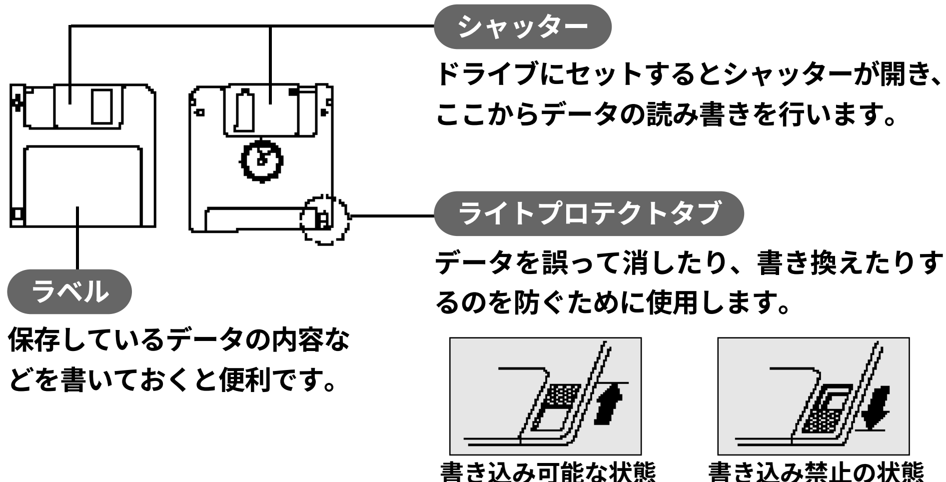
フロッピーディスクを使用する場合は、別売りのフロッピーディスクドライブ（CF-VFDU01J）が必要です。

●フロッピーディスクドライブのランプが点灯中に、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。
フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションが使えなくなることがあります。

●一度使用したフロッピーディスクをフォーマット（初期化）する場合はその前に内容を確認する。
フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。

●書き込み禁止タブ（ライトプロテクトタブ）を使う。
重要なデータを保存している場合におすすめします。
これにより、データの削除や上書き保存を禁止することができます。

●フロッピーディスクの取り扱いに注意する。
データの破損やフロッピーディスクが本体から取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
・シャッターを手で開けない
・磁気を帯びたものを近づけない
・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
・ラベルを重ねて貼らない



ご使用前に

使用上のお願い

お手入れのしかた

- ディスプレイ部分
  ガーゼなどの乾いたやわらかい布で、軽く拭いてください。
- ディスプレイ以外の部分
  水または、水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼって、やさしく汚れを拭き取ってください。

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。
- 水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

本書の読みかた

本機には、Microsoft® Windows® 98 Operating SystemがAPMモード（BIOSが電力管理を行うモード）でインストールされています。本書の説明は、Windows 98のAPMモードを前提にしています。ACPIモード（OSが電力管理を行うモード）では、動作が異なる場合もあります。

本機および本書で使用する省電力用語について

（APMモードの場合）

Windows 95上でサスペンドおよびハイバーネーションと呼んでいた機能を、Windows 98上ではそれぞれスタンバイおよび休止状態と呼びます。
以下に名称の違いをまとめています。

	メモリー以外の電源オフ	・メモリーの内容→ハードディスクへ保存 ・コンピューターの電源オフ
Windows 95	サスペンド	ハイバーネーション
Windows 98	スタンバイ	休止状態

本書では、セットアップユーティリティーの「省電力設定」（→85ページ）以外の説明では、Windows 98の用語を使用しています。

本書の表記上の約束

・キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。

（例） [N み] は N や み と表記します。

・あるキーを押しながら、別のキーを押すときは、次のように「+」を使って表記します。

（例） Fn + F6

・「スタート」→[Windowsの終了]などは、[スタート]をクリックした後、[Windowsの終了]をクリックすることを意味します。
（内容によっては、ダブルクリックが必要であったり、ポインターを置くだけでいい場合もあります。）

各部の名称と働き

前面/側面

パネルスイッチ

ディスプレイを閉じると、このボタンが押されて、自動的に画面が消えます。またはスタンバイ状態に入ります（下記「お願い」参照）。ディスプレイを開けると、再び画面が表示されます。またはリジュームします。

クリックボタン

トラックボールを使って操作するとき、ここを押すとメニューの選択などができます。

トラックボール

ボールを前後左右に回転させると、カーソルがその方向に動きます。

内蔵スピーカー

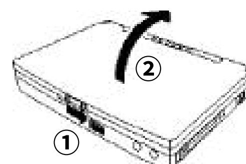
LCD(ディスプレイ)

キーボード

お願い

ディスプレイを閉じてスタンバイ状態に入るには、「コントロールパネル」の「電源の管理」で「Panasonic動作設定」の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を「スタンバイ」に設定しておく必要があります（→20、41ページ）。
また、電源表示ランプが緑色点滅するまで（完全にスタンバイ状態になるまで）はディスプレイを開けないでください。
途中でディスプレイを開けると、スタンバイ状態に入ったままリジューム（→22ページ）できない場合があります。その場合は、再度、ディスプレイを閉じた後、数秒たってからディスプレイを開けてください。

◆ディスプレイを開ける



オープンラッチ

ここをスライドさせてディスプレイを開けます。

状態表示ランプ

NumLK・CapsLK・ScrLK 機能時：緑色

HDDアクセスランプ HDD動作中：緑色

バッテリー状態表示ランプ

バッテリーパックの充電状態を表示します。(→31ページ)

電源表示ランプ

電源オン時：緑色

スタンバイ時：緑色点滅

お知らせ

Windows 98 の画面上では「電源ボタン」と呼ばれることもあります。

電源スイッチ POWER

本体電源の 入/切を切り替えます。

PCカードスロット

PC Card Standard規格に準拠したカードをセットします。(5Vまで対応)

赤外線通信ポート

赤外線通信を行うときに使用します。

マイク入力端子

市販のモノラル・ダイナミックマイクロホンのミニジャックタイプを接続します。

オーディオ出力端子

市販のオーディオ用ヘッドホン、スピーカーなどを接続します。

お願い

モノラル・ダイナミックマイクロホン以外をご使用になると、音の入力ができなかったり、故障の原因になる場合があります。

電源端子

付属のACアダプターのDCプラグを接続します。

USBコネクター

電源を入れたままで、USB対応のマウス、キーボード、プリンター、スキャナーなどいろいろな周辺機器を接続できます。
使用するにはUSB機器に付属のドライバープログラムをインストールする必要があります。

各部の名称と働き

背面/底面

バッテリーパック取り出しレバー



バッテリーパックを取り外すときに、ここをスライドします。

RAMモジュールの取り付け／取り外し時に、このネジを外します。（→53ページ）

リセットスイッチ



電源ON時、先の細いもので押すとコンピューターが再起動します。鉛筆などの折れやすいものは使用しないでください。

お願い

何らかの問題が発生して、コンピューターが操作不能状態になったとき以外は、使用しないでください。保存していないデータは失われます。

拡張バスコネクター



I/Oボックスを取り付けます。

バッテリーパックコネクター

バッテリーパックを取り付けます。

お願い

本機で使用できるバッテリーパックは、付属のバッテリーパック（CF-VZSU05）と別売りのバッテリーパック（CF-VZSU06）です。
その他のものは使用しないでください。

はじめて使うとき

1 梱包物を確認する。

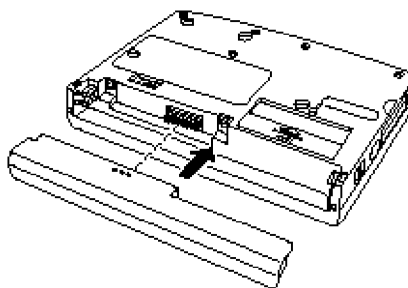
万一、足りない場合、または異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

本体	ACアダプター ... 1個	電源コード 1本
	品番：CF-AA1527	
バッテリーパック . 1個	I/Oボックス 1個	取扱説明書 1部
品番：CF-VZSU05J	品番：CF-VEBM31J	(本書)
		ファーストエイドCD ..1枚
Windows 98パック .. 1部	その他の印刷物	
ファーストステップガイド CD-ROM 登録カード	●保証書 ●ご愛用者登録カード/ソフトウェアサポートカード ●ニフティマネージャーのご案内 ●Hi-HOのご案内 ●Let's note保険のご案内 ●IntelliSync®のご案内	

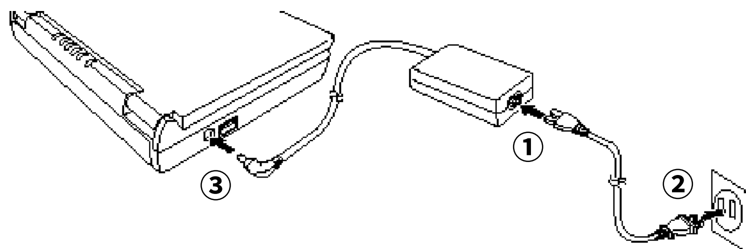
その他の別売り商品		
フロッピーディスクドライブ	大容量バッテリーパック	RAMモジュール
品番：CF-VFDU01J	品番：CF-VZSU06J	品番：CF-BAE0064J CF-BAE0032J

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

2 本体を裏返して、バッテリーパックを取り付ける。
（詳しくは→27ページ）



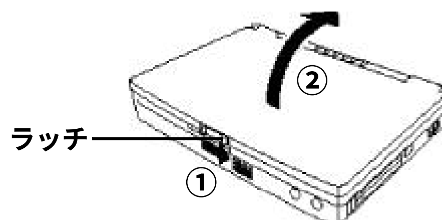
3 付属のACアダプターを接続する。



お願い

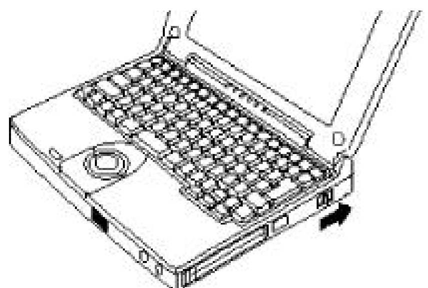
コンピューター本体にACアダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いておいてください。
(ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約0.6Wの電力が消費されます。)

4 ディスプレイを開ける。



5 ソフトウェア使用許諾書（→75ページ）の内容を確認のうえ、同意する。

6 本体の電源を入れる。



① 電源スイッチの上に貼られたシールをはがす。（シールをはがすと使用許諾書に同意したとみなされます。）

② 電源スイッチを後方へ約１秒間スライドし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから、手をはなす。

ご使用前に

お願い

- ディスプレイを閉じた（パネルスイッチが押された）状態では、電源が入りません。ディスプレイを開けてから電源を入れてください。
- 電源スイッチを４秒以上スライドしたままにしないでください。
  ４秒以上スライドし続けると、コンピューターの電源が切れます。
- 電源表示ランプ点灯後、Windowsのセットアップが始まるまでは電源スイッチを操作しないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで5秒以上あけてください。

はじめて使うとき

ご使用前に

7 Windowsのセットアップを行う

①「ユーザー情報」画面で名前と会社名を入力し、[次へ]をクリックする。
名前や会社名の欄には、ニックネームや略称などを入力してもかまいません。また、会社名は省略することができます。

②「使用許諾契約書」画面の内容をよく読んだ後、「同意する」の左横の○をクリックし、[次へ]をクリックする。

お知らせ

「同意しない」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「プロダクト キー」画面が表示されたら、付属の『ファーストステップガイド』の表紙に記入されている番号を入力し、[次へ]をクリックする。

④「ウィザードの開始」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。

⑤「Windows パスワードの入力」画面でユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックする。
パスワードは省略することもできます。

⑥「日付と時刻のプロパティ」画面で[日付と時刻]タブをクリックする。
日付と時刻が正しく設定されていない場合は修正して[閉じる]をクリックする。

⑦「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されたら、ここでは、まだプリンターを接続していないので、[キャンセル]をクリックする。

お知らせ

Windows起動後、[スタート]→[設定]→[プリンタ]をクリックし、[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックすると、「プリンタの追加ウィザード」を起動することができます。プリンターを接続した場合は、「プリンタの追加ウィザード」画面の表示にしたがって設定を行ってください。
プリンターの接続：パラレルコネクター（→52ページ）

⑧「Windows 98 へようこそ」画面が表示されます。

お知らせ

お買い上げ時、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が続く*とディスプレイの電源が切られます。（*バッテリーパックのみで動作時：２分間／ACアダプター接続時：15分間）
この場合、トラックボールかキーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。

Let's note用の壁紙を使用するには

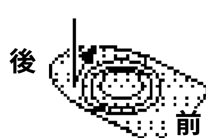
①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックする。
②[画面]アイコンをダブルクリックする。
③「背景」の「壁紙」を下記の中から選ぶ。

- Lets 1
- Lets 2
- Lets 3
- Lets 4
- Lets 5

④[OK]をクリックする。

トラックボールとクリックボタンを使った入力操作

クリック



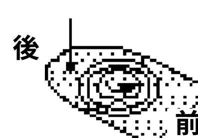
後または前ボタンを押して離す。

ダブルクリック



後または前ボタンを続けて２回すばやく押して離す。

ドラッグ



後または前ボタンを押したまま、トラックボールを回転する。

お知らせ

- ２つのボタンの働きは、使用するアプリケーションソフトによって異なります。通常は後ボタンで動作します。
- 操作方法の詳細は、付属の『ファーストステップガイド』を参照してください。
- トラックボールの動作を詳細に設定することができます。(→79ページ)

操作を始める

ここでは、２回目以降の操作の始めかたについて説明しています。はじめてお使いになるときは、「はじめて使うとき」をご覧ください。

1 **ディスプレイを開けて、電源を入れる。**

電源スイッチを後方へ約１秒間スライドし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから、手をはなしてください。

お願い

- 電源スイッチを４秒以上スライドしたままにしないでください。
  ４秒以上スライドし続けると、コンピューターの電源が切れます。
- 電源表示ランプ点灯後は、Windowsが完全に起動するまで、電源スイッチおよびキーボード、マウスを操作しないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで５秒以上あけてください。
- CPUの温度が上がっていると、保護機能が働き電源が入りません。しばらくしてから電源を入れ直してください。それでも起動しない場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

使いかた

●画面に［鍵アイコン］が表示された場合

ユーザーパスワード（→43ページ）を入力して Enter を押してください。

お知らせ

パスワードの入力を3回間違えると電源が切れます。
また、スタンバイ状態からの復帰時は、入力を３回間違える、あるいは入力しないまま1分間が経過すると、再度スタンバイ状態に入ります。

●Windowsパスワードの入力画面が表示された場合

Windowsのパスワード（→39ページ）を入力して[OK]をクリックしてください。

●ネットワークパスワードの入力画面が表示された場合

ネットワークパスワードを入力して［OK］をクリックしてください。
［キャンセル］をクリックすると、ネットワークに接続できません。

●アプリケーションやファイルがすぐに表示された場合

前回、スタンバイや休止状態に入って操作を終えた場合（→20ページ）、そのときに表示していた画面が表示されます。

2 操作をする。

各種アプリケーションを起動し、操作を始めてください。

お願い

●Internet Explorer 4.01は機能が豊富なため、コンピューターに負担がかかり正常に動作しなくなることがあります。主な問題に対する対処法を以下にまとめています。（問題の解決には、Internet Explorer 4.01の各ヘルプも参照してください。）

・正常に再起動できない・起動に時間がかかる
［コントロールパネル］→［画面］→［Web］タブをクリックし、「Internet Explorer チャンネルバー」の横の□をクリックしてチェックマークをはずし、［OK］をクリックする。

・正常に動作しない
［コントロールパネル］→［画面］→［背景］タブをクリックし、「壁紙」の選択で「なし」を選んで、［OK］をクリックする。

●「Windows 98へようこそ」画面を表示した状態で「コントロールパネル」の「デスクトップテーマ」の設定を変更すると、正常に動作しなくなることがあります。「デスクトップテーマ」を変更する場合は、「Windows 98へようこそ」画面を閉じてから操作してください。

操作を終わる

通常の終了

1 [スタート]→[Windowsの終了]をクリックする。

キーボードを使って終了する場合
[Windowsキー] を押してスタートメニューを表示し、[Windowsの終了]を選ぶ。

2 「電源を切れる状態にする」が選ばれていることを確認して[OK]をクリックする。

自動的に電源が切れます。
●電源を切らずに、起動し直したい（再起動）場合
[再起動する]を選んで、[OK]をクリックする。

使いかた

「スタンバイ」や「休止状態」機能を使った終了

「スタンバイ」や「休止状態」機能（→９ページ）を使うと、アプリケーションソフトを終了することなく、電源の入/切を行うことができます。電源を入れると、電源を切る前に使用していたアプリケーションソフトやファイルが画面に表示されるので、すぐに操作を始めることができます。

スタンバイと休止状態の違い

	状態の保存先	立ち上がり速度	電源の供給
スタンバイ	メモリー	速い	必要
休止状態	ハードディスク	やや遅い	不要

◆操作を終わる

1 スタンバイまたは休止状態を設定する。

①「コントロールパネル」の[電源の管理]を起動する（→36ページ）
②[Panasonic動作設定]タブをクリックする。
③[コンピュータの電源ボタンを押したとき]を[スタンバイ]または[休止状態]に設定して、[OK]をクリックする。

2 電源スイッチを後方へスライドする。

ピッという確認音が鳴ってから手を離すと、スタンバイまたは休止状態になります。
（Fn + F4 でスピーカーをオフに設定している場合、音は鳴りません。→92ページ）



お願い

- 電源スイッチを４秒以上スライドしたままにしないでください。４秒以上スライドし続けると、ピーという連続音が鳴り、スタンバイや休止状態に入らず自動的に電源が切れます。（ Fn + F4 でスピーカーをオフに設定している場合、音は鳴りません。）
- 処理中はマウス、モデム、その他のシリアルデバイスには触れないでください。操作を再開したときシステムに認識されないことがあります。そのようなときには、本体を再起動するか、デバイスを初期化し直してください。
- 処理中は、リセットスイッチを押さないでください。保存していないデータは失われます。
- WindowsやMS-DOS以外のオペレーティングシステム（OS）ではスタンバイおよび休止状態に入れないことがあります。
- 以下の場合は、スタンバイおよび休止状態に入らないでください。これらの機能や周辺機器が正常に動作しない場合があります。
  - 通信ソフト動作中・ネットワーク使用中
  - オーディオの録音・再生中
  - PCカード（SCSI・ATAカード）などの周辺装置の使用中
  - フロッピーディスクドライブ・ハードディスクドライブ・CD-ROMドライブ・USB機器などの使用中
- 「モニタの電源を切る」（［コントロールパネル］→［電源の管理］→［電源設定］）とスクリーンセーバー（［コントロールパネル］→［画面］→［スクリーンセーバー］）の両方を設定していると、スタンバイや休止状態から正常にリジュームできない場合があります。
- 休止状態に入るには、内蔵ハードディスク上に、メモリーデータ書き出し用として一定の領域が必要です。領域は、出荷時に確保してありますが、ハードディスクのパーティションを変更したときには、確保し直す必要があります。詳しくは、「休止状態用データ領域の作成」（→76ページ）をご覧ください。

お知らせ

- Fn + F7 を押して休止状態に入ることもできます。
- Windows 98起動時は、 Fn + F10 を押してスタンバイ状態に入ることができます。また、[スタート]→[Windowsの終了]をクリックして「スタンバイ」を選んでも、スタンバイ状態に入ることができます。

使いかた

操作を終わる

◆操作を再開する



電源スイッチを
後方へスライドする

使いかた

お願い

- 電源スイッチを４秒以上スライドしたままにしないでください。４秒以上スライドし続けると、自動的に電源が切れます。
- Windowsが完全に起動するまで、キーボード、マウスを操作しないでください。
- バッテリー容量が少ない状態でスタンバイや休止状態に入るとリジュームできない場合があります。その場合はACアダプターをつないでから電源を入れてください。

お知らせ

スタンバイや休止状態から次に電源を入れたときに元の状態に戻ることを「リジュームする」と言います。

バックアップディスクを作成する

お願い

ハードディスクの内容が消えてしまったときなど、再インストールを行う必要が起こったときのために、必ず以下のバックアップディスク（合計２枚）を作成しておいてください。ハードディスクを初期化した後では作成することができませんので、ご注意ください。

①ファーストエイドFD（1枚）
②CD-ROMセットアップ起動ディスク（1枚）

準備

- I/Oボックス（付属）
- フロッピーディスクドライブ（別売）
- 2HDのフロッピーディスク２枚（別売）

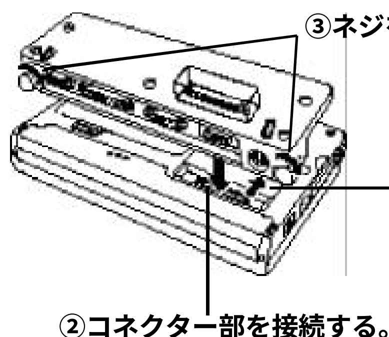
使いかた

1 操作を終わり（→20ページ「通常の終了」）、電源が切れたことを確認してACアダプターを取り外す。

2 本体を裏返す。

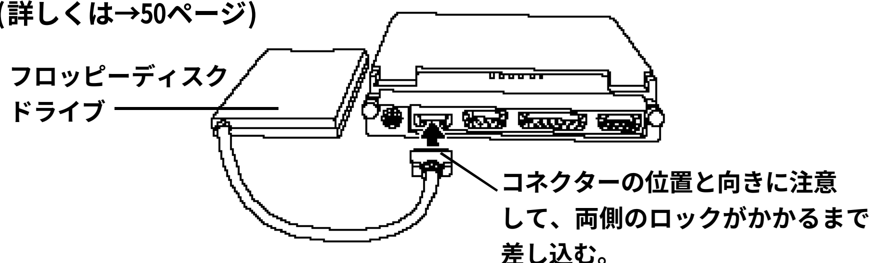
3 別売りの大容量バッテリーパックを取り付けている場合は、取り外す。（→29ページ）
（付属の標準バッテリーパック使用時は、取り外す必要はありません。）

4 I/Oボックスを取り付ける。(詳しくは→48ページ)



バックアップディスクを作成する

5 **別売りのフロッピーディスクドライブを取り付ける。**
(詳しくは→50ページ)



使いかた

6 **ACアダプターを接続し、ディスプレイを開けて電源を入れる。**
Windowsの画面が表示されます。

7 **[スタート]をクリックし、[プログラム]→[Panasonic]の順にポインターを置き、[ファーストエイドFD作成]をクリックする。**

8 **バックアップディスクを順に作成する。**
画面の指示に従って操作してください。
作成したバックアップディスクには、それぞれフロッピーディスクラベルを貼ってください。

お願い

- フロッピーディスクドライブのランプ点灯中に、フロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったり、スタンバイや休止状態に入らないでください。
- バックアップディスクの作成中は、その他のアプリケーションプログラムは実行しないでください。
- バックアップディスクの作成中に「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、[OK]を選んで操作を終了し、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
- ディスク作成後、再起動するときに時間がかかることがあります。

◆再インストールのための準備

再インストール時には、CD-ROMドライブが必要です。再インストールの必要が起こったときのために、使用するCD-ROMドライブにあわせて、「CD-ROMセットアップ起動ディスク」を設定しておいてください。

準備するもの

- できあがった「CD-ROMセットアップ起動ディスク」
- 付属の「ファーストエイドCD」
- 別売りのCD-ROMドライブ[*1]（推奨品：Panasonic製ドライブ→下記）

PD/CD-ROMドライブ

LF-1500J/JDN，LF-1600JB[*2]，LF-1700JB[*2]

CD-ROMプレーヤー

KXL-DN720A，KXL-DN740A/A-NB，KXL-DN745A，KXL-783A，KXL-800A-N，KXL-803A-N，KXL-807AN,KXL-808AN，KXL-810AN

[*1] PDドライブ、CD-ROMプレーヤーなどを総称して「CD-ROMドライブ」と呼びます。

[*2] インターフェースカード（CF-JSC201/301）を使用してください。また、CF-JSC301は上段のPCカードスロットで使用してください。

①フロッピーディスクドライブおよびCD-ROMドライブを接続する。

（フロッピーディスクドライブの接続　→50ページ

CD-ROMドライブの接続　→CD-ROMドライブに付属の説明書）

②「CD-ROMセットアップ起動ディスク」を書き込み可能な状態にしてフロッピーディスクドライブにセットし、CD-ROMドライブとコンピューターの電源を入れる。

③●推奨CD-ROMドライブをお使いのかたは

画面のメッセージに従って、使用するCD-ROMドライブを選ぶ。

「CD-ROMセットアップ起動ディスク」の中のCONFIG.SYSファイルとAUTOEXEC.BATファイルの内容が自動的に書き換えられます。

●推奨品以外のCD-ROMドライブをお使いのかたは

「3.その他のCD-ROMドライブ」を選択してください。その後、使用するCD-ROMドライブやインターフェースカードに付属のフロッピーディスクから、「CD-ROMセットアップ起動ディスク」へ必要なドライバーをコピーし、「CD-ROMセットアップ起動ディスク」中のCONFIG.SYSファイルとAUTOEXEC.BATファイルの内容を書き換えてください。

ドライブによってはカードマネージャー（カードサービスとソケットサービス）が必要なものもあります。詳しくは、ドライブやインターフェースカードに付属の説明書をご覧ください。

④MS-DOSのプロンプト（A:\>）が表示されたら、ALT + Ctrl + Del を押してコンピューターを再起動する。

バックアップディスクを作成する

⑤「再インストールを実行しますか」というメッセージが表示されたら、N を押す。

お願い

必ず、N を押してください。Y を押すと、再インストールが始まりますのでご注意ください。

⑥「ファーストエイドCD」をセットし、MS-DOSのプロンプトに続けて「dir L:」と入力して Enter を押し、Lドライブを認識できるか確認する。

お知らせ

Lドライブが認識できない場合は、下記のことを確認してください。
- CD-ROMドライブは正しく接続されているか？電源が入っているか？
- 推奨ドライブを使用している場合、前ページ手順③で使用するドライブを正しく選んだか？
  （→下記「お知らせ」）
- 推奨以外のドライブを使用している場合、必要なドライバーがそろっているか？CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が正しいか？

⑦認識できることを確認したら、「A:\tools\shutdown」を実行して、コンピューターの電源を切る。

お知らせ

使用するCD-ROMドライブを変更する場合などには、手順①～⑦の操作をもう一度行ってください。
その際、手順②では、下記に従って操作してください。
(1)「ファーストエイドFD」をフロッピーディスクにセットし、コンピューターの電源を入れる。
(2)「1.DOSで起動する。」を選択する。
(3)「CD-ROMセットアップ起動ディスク」に交換する。
(4)「A:\>」プロンプトに続けて「tools\seldrv」と入力して Enter を押す。

お願い

再インストール時には、「再インストールのための準備」を行ったCD-ROMドライブと「CD-ROMセットアップ起動ディスク」をご使用ください。
違うものを使用すると、CD-ROMドライブを正しく認識できないため、再インストールを行うことができません。

使いかた

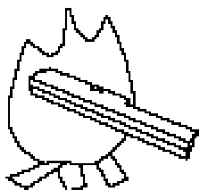
バッテリーパックを使う

外出先や会議場などコンセントのない場所でも、コンピューターをバッテリーだけで使うことができます。稼動時間は、付属の標準バッテリーパックで約2.5時間*、別売りの大容量バッテリーパックで約８時間*です。(*省電力モード時の表記です。)
ここでは、バッテリーパックの取り扱いについての注意事項や取り付けかた、充電のしかたなどについて説明します。

バッテリーパックに関する注意 

火中に投入したり加熱したりしない


禁止



発熱・発火・破裂の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない


禁止



発熱・発火・破裂の原因になります。

クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない


禁止



発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない


禁止



発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

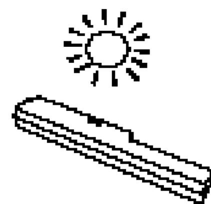




CF-M32シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない


禁止

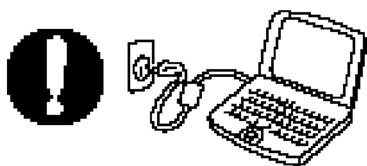


発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリーパックを使う

バッテリーパックに関する注意 

指定された方法で充電する



取扱説明書に記載された方法で充電しないと、発熱･発火･破裂の原因になります。

使いかた

取り扱い上のお願い

●バッテリーパックは一般のごみといっしょに廃棄しないでください。
端子をテープなどで絶縁してから、地方自治体の条例などに従い、廃棄してください。（本機のバッテリーパックは、リチウムイオン蓄電池を使用しています。）

●交換用のバッテリーパックをポケットやカバンに入れて持ち運ぶときは、端子部分がショートするのを防ぐために、ビニール袋に入れることをお薦めします。

●水などで濡らさないでください。端子がさびる原因となります。

●端子部分には触れないでください。端子が汚れると、接触が悪くなったり十分に充電できなかったりすることがあります。

●万一、破損によって電解液が流出し、皮膚や衣服についた場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。もし、身体に異常を感じた場合は、医師にご相談ください。

使用温度についての留意点

●使用環境温度5～35°Cの範囲で操作してください。
使用環境温度が低い場合、バッテリーの駆動時間が短くなります。

●通常の使用時にあたたかくなることがありますが、異常ではありません。

取り付けかた/取り外しかた

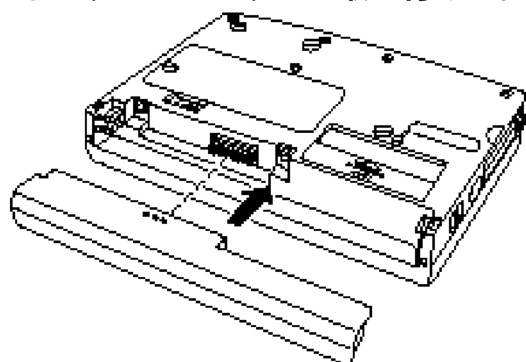
お願い

本機で使用できるバッテリーパックは、付属のバッテリーパック（CF-VZSU05）と別売りのバッテリーパック（CF-VZSU06）です。その他のものは使用しないでください。

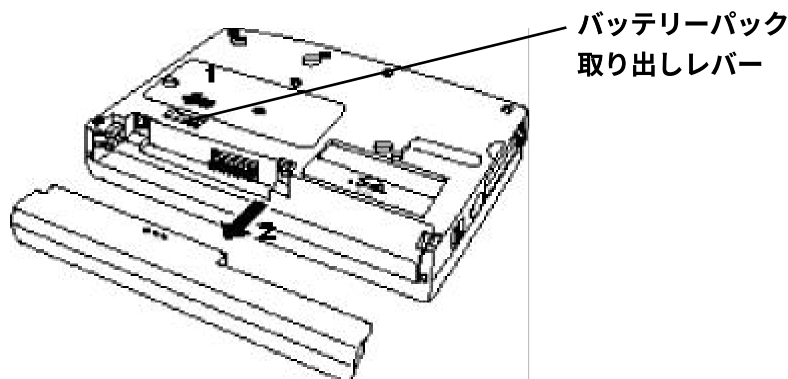
1 操作を終わり(→20ページ「通常の終了」)、電源が切れたことを確認してACアダプターを取り外す。

2 本体を裏返す。

3 ●バッテリーパックを取り付ける。



●バッテリーパックを取り外す。



お知らせ

別売りの大容量バッテリーパック（品番：CF-VZSU06J）をご使用になる場合も、取り付け/取り外し・充電のしかたなどは同様です。

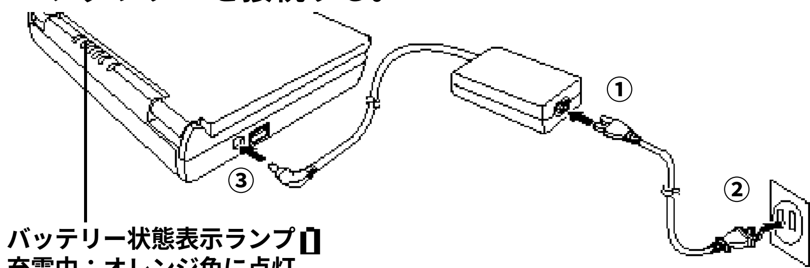
使いかた

バッテリーパックを使う

充電のしかた

付属のバッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。
コンピューター本体にバッテリーパックを取り付けた状態でACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

1 ACアダプターを接続する。



バッテリー状態表示ランプ
充電中：オレンジ色に点灯

2 充電状態を確認する。

◆充電時間(使用条件により異なります。)

		標準バッテリーパック（付属）	大容量バッテリーパック（別売）
電源	入	約5時間	約13時間
	切	約2.5時間	約6.5時間

バッテリー状態表示ランプ
充電完了：緑色に点灯



お願い

- バッテリーパックを長期間放置していた場合は、使用前に必ず充電してください。この場合、通常の時間で充電が終了しないことがありますが、故障ではありません。
- 本機では過充電を防ぐため、満充電に近い状態では再充電できないようになっています。電池残量が90%前後になるまで放電してから充電するようにしてください。
- バッテリーパックの着脱を何度も繰り返し、その度に充電を行うと、過充電となり熱を発生します。バッテリーパックの劣化の原因となりますのでやめてください。
- バッテリーパックは消耗品です。バッテリーの駆動時間が著しく短くなり、充電を何度繰り返しても性能が回復しない場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいものと交換してください。

お願い

- 使用環境温度（5～35℃）の範囲内で充電してください。使用環境温度の範囲外では、また、使用環境温度の範囲内であっても、使用条件によりバッテリーパックの温度が高温あるいは低温になりすぎているときには、充電できない場合があります。（このとき、バッテリー状態表示ランプはオレンジ色に点滅します。）このようなときは、室温を調節したり、しばらくコンピューターの使用を控えるなどしてください。バッテリーパックの温度が範囲内に戻ると、自動的に充電が始まります。
- 充電中、バッテリー状態表示ランプが赤色に点滅した場合は、内部の保護回路が働き、充電が中止された可能性があります。このような場合は、いったん、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、再度、取り付けてください。また、このような現象が繰り返し起こる場合は、故障ということが考えられますので、お買い上げの販売店、または「ご相談窓口」にご相談ください。

バッテリー残量の確認

バッテリー残量を確認するには、バッテリー状態表示ランプで確認する方法と画面に表示されるアイコンで確認する方法があります。

◆バッテリー状態表示ランプで確認する

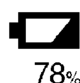
バッテリー状態表示ランプの状態	充電状態
オレンジ色に点灯	充電中
緑色に点灯	充電完了
赤色に点灯 （同時にアラーム音が鳴ります。）	バッテリー残量なし 充電が必要です。すぐにACアダプターを接続してください。ACアダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windowsも終了して電源表示ランプが消えていることを確認してください。
オレンジ色に点滅	充電できない バッテリーパックの温度が使用環境温度の範囲外にあるため、充電できません。充電可能な温度に戻してから、再度、充電を始めてください。
赤色に点滅	バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。ACアダプターとバッテリーパックを取り外して再度正しく装着し直してください。それでも赤く点滅するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

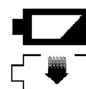
バッテリーパックを使う

◆画面に表示されるアイコンで確認する（キー操作による残量表示）

Fn キーを押しながら F9 キーを押して手を離すと、しばらくの間、画面上にバッテリーの残量を示すアイコンが表示されます。

バッテリー装着時（の一例）　　バッテリー未装着時





（数値と実際の残量は、多少異なる場合があります。）

使いかた

お知らせ

- バッテリー残量が少なくなるとスタンバイ状態に入ります。または自動的に電源が切れます（→38、39ページ）。そのような際には、ACアダプターを接続してください。
- 付属の標準バッテリーパックの場合で、電源が切れている状態でも、約80 mWの電力を消費します。満充電していても約１週間でバッテリー残量がなくなります。

バッテリー容量を正確に表示させるために

本機のバッテリーパックには、バッテリー容量を計測し、記憶・学習するための機能があります。この機能を正しく働かせて、バッテリー残量を正確に表示させるため、以下の手順にしたがって、満充電→完全放電→満充電の操作を行ってください。
この操作は、お買い上げ後、一度は行っておいてください。また、長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合も、再度、この操作を行ってください。

1 **バッテリーパック装着後、ACアダプターを接続する。**

お願い

キー操作による残量表示では、100%と表示されるのに、バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し続ける場合があります。異常ではありませんので、そのまま緑色になるまで充電を続けてください。

2 **バッテリー状態表示ランプが緑色になったら、ACアダプターを取り外す。（満充電）**

3 **放電ツールを使って、バッテリーを完全放電させる。（完全放電）**

お知らせ

満充電状態で放電ツールを実行した場合、自動的に電源が切れるまでに約2時間かかります。

①[スタート]→[Windowsの終了]→[MS-DOSモードで再起動する]を選んで、[OK]をクリックする。

②MS-DOSのプロンプト（C:\WINDOWS>）に続けて、以下のように入力する。

c:\panaapp\battref /g Enter

③確認のメッセージが表示されたら Y を押す。

④バッテリーが完全放電され、自動的にコンピューターの電源が切れます。

お願い

上記の放電操作を行ったあと、コンピューターの電源が切れるまで、ACアダプターを接続したりコンピューターの電源を切ったりしないでください。バッテリー容量を正しく計測できなくなります。

4 **ACアダプターを接続して、バッテリー状態表示ランプが緑色に点灯するまで充電する。（満充電）**

お願い

完全放電後はすみやかに、ACアダプターを接続して充電を行ってください。

外出先で使う(省電力)

外出先などコンセントのない場所では、コンピューターをバッテリーだけで使うことが多くなります。次のようなことに注意して、バッテリーを効率よく使いましょう。

省電力のコツ！

●使わないときは電源を切る（→20ページ）

● Fn + F2 でディスプレイの明るさを調整（暗く）する（→92ページ）

● Fn + F10 でスタンバイ状態にしてから席を外す（→93ページ）

スタンバイ状態に入ると、操作を再開するまでメモリー以外の電源が切れ*、電力の消費が抑えられます。操作を再開するときは、電源スイッチを後方へスライドさせてください。

* 上記はWindows 98上で Fn + F10 を押した場合です。MS-DOSモードでの起動時に押すと、ハードディスクドライブモーターとディスプレイの電源のみが切れます。

●省電力機能を設定する（→40ページ）

「コントロールパネル」の「電源の管理」の「Panasonic省電力モード設定」で[省電力]に設定してください。

●自動的に休止状態に入るように設定する（→42ページ）

「コントロールパネル」の「電源の管理」の「Panasonic動作設定」で、スタンバイ状態から自動的に休止状態になるまでの時間を設定しておきます。

お使いのアプリケーションによっては、この機能が働かない場合もあります。

お願い

ネットワーク環境でお使いの場合

「電源の管理」の「Panasonic動作設定」で「スタンバイ状態から休止状態への移行」を設定しないでください。休止状態から操作を再開した後、ネットワーク接続できなかったり、コンピューターが正常に動作しなくなる場合があります。

シリアルコネクターなどに高速モデムやISDNのターミナルアダプターなどを接続して通信を行う場合、または赤外線通信ポートで通信を行う場合

省電力の設定を有効にして高速通信を行うと通信が正常に行われない場合があります。設定した省電力の内容を一時的に無効にするには、Fn + F8 を押してが画面に表示（数秒間）されたことを確認してください。通信を終了したら電力の消費を押さえるために再度 Fn + F8 を押して省電力の設定を有効にしてください。

外出先で使う(省電力)

「電源の管理」

「電源の管理」を起動するには：
Windowsの[スタート]メニューから、[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[電源の管理]をダブルクリックします。
または、タスクバーの「電源の管理」アイコン（ACアダプター接続時）または（バッテリーで使用時）を前ボタンでクリックし、プルダウンメニューの「電源のプロパティの調整」をクリックします。

以下に、「電源の管理」の各設定について説明します。

使いかた

◆電源設定

[電源設定]タブをクリックすると以下の画面が表示されます。

デフォルト設定時の画面例



＜電源設定＞
「ホーム／オフィスデスク」「ポータブル／ラップトップ」「常にオン」の中から選択します。お買い上げ時は「ポータブル／ラップトップ」に設定されています。
「ホーム／オフィスデスク」を選択すると、各項目は自動的に次のように設定されます。

項目	電源に接続	バッテリを使用中
システムスタンバイ	20分後	1分後
モニタの電源を切る	15分後	2分後
ハードディスクの電源を切る	30分後	10分後

「ポータブル／ラップトップ」を選択すると、各項目は自動的に次のように設定されます。

項目	電源に接続	バッテリを使用中
システムスタンバイ	20分後	5分後
モニタの電源を切る	15分後	2分後
ハードディスクの電源を切る	30分後	3分後

「常にオン」を選択すると、各項目は自動的に次のように設定されます。

項目	電源に接続	バッテリを使用中
システムスタンバイ	なし	5分後
モニタの電源を切る	15分後	2分後
ハードディスクの電源を切る	1時間後	3分後

また、各項目を自由に設定し、その設定状態を「名前を付けて保存」しておくこともできます。

＜システムスタンバイ＞
コンピューターを放置してから、設定した時間後に、メモリー以外のすべての電源を切る機能です。操作を再開するときは、電源スイッチを後方へスライドさせてください。
「コントロールパネル」の「画面」でスクリーンセーバーを設定している場合、システムスタンバイ機能が正常に動作しないことがあります。

＜モニタの電源を切る＞
コンピューターを放置してから、設定した時間後に、ディスプレイの電源を切る機能です。キーボードやマウスの入力などが発生すると、ディスプレイの表示は元に戻ります。
この機能を使用するときは、「コントロールパネル」の「画面」でスクリーンセーバーを設定しないでください。この機能とスクリーンセーバーの両方を設定していると、スタンバイや休止状態から、正常にリジュームできない場合があります。

＜ハードディスクの電源を切る＞
コンピューターを放置してから、設定した時間後に、ハードディスクの電源を切る機能です。ハードディスクのアクセスが発生すると、ハードディスクの電源が入ります。

外出先で使う(省電力)

◆アラーム

[アラーム]タブをクリックすると以下の画面が表示されます。

デフォルト設定時の画面例



＜バッテリ低下アラーム＞
バッテリー容量が一定のレベルに達したら、バッテリーの低下をアラームで知らせるよう設定します。
「電源レベルが次に達したらバッテリ低下アラームで知らせる」にチェックマークを付け、%値を設定します。お買い上げ時は「3%」に設定されています。

＜バッテリ切れアラーム＞
バッテリー容量が一定のレベルに達したら、バッテリー切れをアラームで知らせるよう設定します。
「電源レベルが次に達したらバッテリ切れアラームで知らせる」にチェックマークを付け、%値を設定します。お買い上げ時は「0%」に設定されています。

また、「アラーム動作」ボタンをクリックすると、「通知方法」と「電源レベル」を設定することができます。

通知方法	「音で知らせる」「メッセージを表示する」から選択します。お買い上げ時は「メッセージを表示する」に設定されています。

電源レベル　「アラーム後のコンピュータの動作」を設定する場合は左側の□にチェックマークを付け、「スタンバイ」と「シャットダウン」から選択します。
お買い上げ時は、「バッテリ低下アラーム」ではこの機能は設定されていません。「バッテリ切れアラーム」では「スタンバイ」に設定されています。

お知らせ

「アラーム後のコンピュータの動作」を設定した場合は、「プログラムが応答しない場合でも、スタンバイまたはシャットダウンする」の左側の□にチェックマークを付けておいてください。

◆電源メーター

コンピューターの電源の状態やバッテリー残量を確認することができます。

◆詳細

[詳細]タブをクリックすると、以下の設定を行うことができます。
＜電源メーターをタスクバーに表示する＞
タスクバーに「電源の管理」プログラムのアイコンを表示したい場合は、左側の□にチェックマークを付けてください。お買い上げ時には、表示するように設定されています。
タスクバーのアイコンを後ボタンでクリックすると、プルダウンメニューが表示され、そのメニューから電源設定を切り替えることができます。
また、前ボタンでクリックし、プルダウンメニューの「電源のプロパティの調整」を選ぶと、「電源の管理」プログラムが起動します。

＜スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める＞
左側の□にチェックマークを付けておくと、スタンバイ状態からの復帰時にパスワードの入力が必要になります。お買い上げ時は、この機能は設定されていません。（チェックマークは付いていません。）
スタンバイからの復帰時に「パスワードの入力」画面が表示されたら、Windowsのパスワード*を入力してください。

*Windowsのパスワードは、「はじめて使うとき」の手順７の⑤（→16ページ）で設定したものを使用してください。また、「コントロールパネル」の「パスワード」で設定し直すこともできます。

外出先で使う(省電力)

◆OPL3-SAx電源管理

音源の電力管理を行います。

＜電力消費の程度＞
パワーセーブモードに入ったときに電力の消費をどの程度節約するかを設定します。お買い上げ時は、「普通に節約」に設定されています。

＜パワーセーブするまでの時間＞
何秒間、音源の電力が使用されなかったら、パワーセーブモードに入るかを設定します。お買い上げ時は5秒に設定されています。

＜強制的にパワーセーブ＞
この機能を有効にすると常にパワーセーブモードになります。

使いかた

◆Panasonic省電力モード設定

[Panasonic省電力モード設定]タブをクリックすると以下の画面が表示されます。

デフォルト設定時の画面例



設定値を標準（デフォルト）の状態に戻す

＜省電力モード＞
「標準」を選択すると処理速度重視の設定になり、「CPUスピード：100%」、「LCDバックライト：明（最大）」に設定されます。「省電力」を選択すると消費電力重視の設定になり、「CPUスピード：25%」、「LCDバックライト：省電力（最小）」に設定されます。「ユーザー設定」を選択すると、「CPUスピード」と「LCDバックライト」を自由に設定することができます。また、これらの設定は、Fn ＋ F8 で一時的に変更することができますが、コンピューター起動時にはここで設定した内容で動作します。

＜CPUスピード＞
「省電力モード」で「ユーザー設定」を選んだ場合のみ、CPUの動作速度を「100%」「75%」「50%」「25%」「12.5%」から選択します。

＜LCDバックライト＞
「省電力モード」で「ユーザー設定」を選んだ場合のみ、LCDバックライトの輝度を、４段階（明、中、暗、省電力）から選択します。暗くするほど消費電力は少なくなります。

＜標準に戻す＞
省電力モード設定のすべての設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

◆Panasonic動作設定

[Panasonic動作設定]タブをクリックすると以下の画面が表示されます。

デフォルト設定時の画面例



設定値を標準（デフォルト）の状態に戻す

＜ポータブルコンピュータを閉じたとき＞
LCDパネルを閉じたときの動作を選択します。「スタンバイ」を選択してLCDパネルを閉じると、スタンバイ状態になり、電源表示ランプが緑色に点滅します。LCDパネルを開くとリジュームします。電源スイッチでリジュームすることはできません。
「LCDをオフにする」を選択してLCDパネルを閉じると、LCDの電源が切れます。LCDパネルを開けるとLCDの電源が入ります。

お願い

「スタンバイ」に設定している場合は、電源表示ランプが緑色点滅するまで（完全にスタンバイ状態に入るまで）はディスプレイを開けないでください。
途中でディスプレイを開けると、スタンバイ状態に入ったままリジュームできなくなる場合があります。その場合は、再度ディスプレイを閉じた後、数秒たってからディスプレイを開けてください。

外出先で使う(省電力)

＜コンピュータの電源ボタンを押したとき＞
コンピューターの電源スイッチ（電源ボタン）をスライドしたときの動作を「スタンバイ」「休止状態」「強制電源断」から選択します。

＜スタンバイ状態から休止状態への移行＞
スタンバイ状態になってから、自動的に休止状態になるまでの時間を設定します。有効にするには、左側の□にチェックマークを付けて、実行までの待ち時間を「５分」「10分」「30分」「60分」「120分」から選択します。

＜スタンバイ時には、PCカードをオフにする＞
スタンバイ時のPCカードの電源状態を設定します。左側の□にチェックマークを付けると、スタンバイ中はPCカードの電源が強制的にオフになり、電力の消費が抑えられます。
（Windows98起動時は□にチェックマークを付けなくても、通常、スタンバイ中にPCカードの電源がオフになります。）

セキュリティー機能を使う

データや機器の盗難防止、機密保護を目的としたいくつかのセキュリティー機能を使うことができます。不測の事態に備えて、セキュリティー機能を活用することをおすすめします。

お願い

セキュリティー機能を使っても必ずしも安全というわけではありません。
機密保護の一つとしてご活用ください。重要なデータについては、お客様ご自身が十分注意して管理してください。（→6ページ「使用上のお願い」）

コンピューターを無断で使用されたくないとき

ユーザーパスワードを設定してください。ユーザーパスワードを知らないと、コンピューターを起動することができません。

◆ユーザーパスワードの設定のしかた

1 セットアップユーティリティーを起動する。（→80ページ）

2 [システム設定]を選び Enter を押し、[ユーザーパスワード]を選んで Enter を押す。

ユーザーパスワード	
ユーザーパスワードの状態	無効
新しいユーザーパスワードを２回入力してください。	
ユーザーパスワード入力	[　　　]
ユーザーパスワード再入力	[　　　]
ユーザーパスワード登録（変更）	
ユーザーパスワード削除	

3 ●パスワードを新規に登録する・変更する場合

①[ユーザーパスワード入力]の[　　　]欄にパスワードを入力する。
②[ユーザーパスワード再入力]の[　　　]欄に手順①で入力したパスワードを入力する。
③[ユーザーパスワード登録（変更）]を選び Enter を押す。

使いかた

セキュリティー機能を使う

お願い

- 入力したパスワードは画面に表示されません。
- 入力可能な文字は、半角の英数記号（\、\を除く）で、最大７文字までです。大文字、小文字の区別はありません。
- Shiftや Ctrl などの特殊キーとあわせて入力することはできません。
- テンキーによる入力はできません。数字は、キーボード上段の数字キーを使って入力してください。
- パスワードは忘れないようにしてください。忘れたパスワードを解除する方法はありません。

●登録済みのパスワードを無効にする場合

[ユーザーパスワード削除]を選び Enter を押す。

4 確認して Enter を押し、 Esc でパスワードの設定を終了する。

お願い

無断でパスワードを変更されることを避けるために
- セットアップユーティリティーを起動したままコンピューターから離れないでください。
- 「ユーザーパスワード保護」を「有効」に設定してください。（→次ページ）

5 セットアップユーティリティーを終了する。（→81ページ）

スーパーバイザー設定の内容を無断で変更されたくないとき

スーパーバイザーパスワードを設定してください。スーパーバイザーパスワードを知らないとスーパーバイザー設定を変更できません。

◆スーパーバイザーパスワードの設定のしかた

1 セットアップユーティリティーを起動する。（→80ページ）

2 [スーパーバイザー設定]を選び Enter を押し、[スーパーバイザーパスワード]を選んで Enter を押す。



スーパーバイザーパスワード	
スーパーバイザーパスワードの状態	無効
新しいスーパーバイザーパスワードを２回入力してください。	
スーパーバイザーパスワード入力	[　　　]
スーパーバイザーパスワード再入力	[　　　]
スーパーバイザーパスワード登録（変更）	
スーパーバイザーパスワード削除	

3 **●パスワードを新規に登録する・変更する場合**

①[スーパーバイザーパスワード入力]の[　　　]欄にパスワードを入力する。

②[スーパーバイザーパスワード再入力]の[　　　]欄に手順①で入力したパスワードを入力する。

③[スーパーバイザーパスワード登録（変更）]を選び Enter を押す。

●登録済みのパスワードを無効にする場合

[スーパーバイザーパスワード削除]を選び Enter を押す。

お願い

- 入力したパスワードは画面に表示されません。
- 入力可能な文字は、半角の英数記号（\、\を除く）で、最大７文字までです。大文字、小文字の区別はありません。
- Shift や Ctrl などの特殊キーとあわせて入力することはできません。
- テンキーによる入力はできません。数字は、キーボード上段の数字キーを使って入力してください。
- パスワードは忘れないようにしてください。忘れたパスワードを解除する方法はありません。
- ユーザーパスワードと同じパスワードは設定できません。

4 **確認して Enter を押し、 Esc でパスワードの設定を終了する。**

お知らせ

ユーザーパスワードを変更されたくないときは、「ユーザーパスワード保護」を「有効」に設定してください。

5 **セットアップユーティリティーを終了する。** （→81ページ）

赤外線通信をする

本機の赤外線通信ポートを使うと、赤外線通信機能を持ったほかのコンピューターとケーブルを接続することなく通信することができます。
ここでは、「IntelliSync® for Notebooks」（以降、IntelliSyncと表記します）を使って、赤外線通信を行う場合を例にして説明します。

1 **互いのコンピューター上で、赤外線通信ポートを使用可能に設定しておく。**

本機では、「スーパーバイザー設定」の「赤外線ポート」でアドレスを設定し、「赤外線ポート：ASKモード」を「無効」に設定する。（→90、91ページ）

2 **互いのコンピューター上で、IntelliSyncの「接続設定マネージャ」を使ってデバイスやボーレートを設定する。**

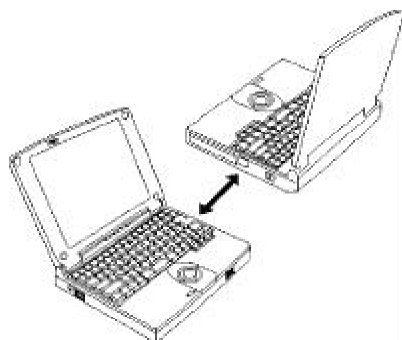
①[スタート]→[プログラム]→[IntelliSync]→[IntelliSync エージェント]をクリックする。
②説明画面が表示されるので、よく読んだ後、[OK]をクリックする。
③[接続設定マネージャ]アイコンをクリックする。
アイコンの名前を確認したいときは、カーソルをそのアイコン上に移動させてください。
④はじめて「IntelliSync エージェント」を起動したときは、「使用許諾同意書」画面が表示されるので、内容を確認の上、「承諾する」をクリックする。
⑤説明画面が表示されるので、よく読んだ後、[閉じる]をクリックする。
⑥[ローカルデバイス]タブをクリックし、「赤外線デバイス」の左横の⊞をクリックする。
⑦「赤外線デバイス」の下から使用するデバイスを選んで、[プロパティ]をクリックする。
⑧「接続を可能にする」の左側の□をクリックし、チェックマーク☑を付ける。
⑨[IRウィザード]をクリックし、画面の指示に従って、デバイスとボーレートを設定する。
⑩「ポートのプロパティ」画面に戻ったら[OK]をクリックする。
⑪[OK]をクリックして、「接続設定マネージャ」画面を閉じる。

使いかた

3 互いのコンピューターを赤外線通信が行えるように設置する。

設置時に気をつけること

- お互いのポートが真正面に向きあうように設置する。
- ポート間の距離を20〜50cmの範囲に設置する。



お知らせ

以下のような場合うまく通信できません。
- お互いのポート間に障害物があるとき
- 近くでテレビ、ビデオ、ワイヤレス・ヘッドホン、ストーブなどが動作しているとき
- 直射日光や蛍光燈、白熱灯などの光がポートにあたっているとき

使いかた

4 赤外線通信を行う。

ファイル転送などの操作について詳しくは、各機能のヘルプをご覧ください。

お願い

各機能の画面を開いている状態では、スタンバイおよび休止状態に入らないでください。リジューム後、各機能が正常に動作しなくなります。

5 赤外線通信を終了する。

「ファイル転送」や「シンク」の画面では、[ファイル]→[閉じる]をクリックする。

IntelliSync エージェントも終了する場合は、メイン画面の右上の☒をクリックする。

周辺機器を拡張する

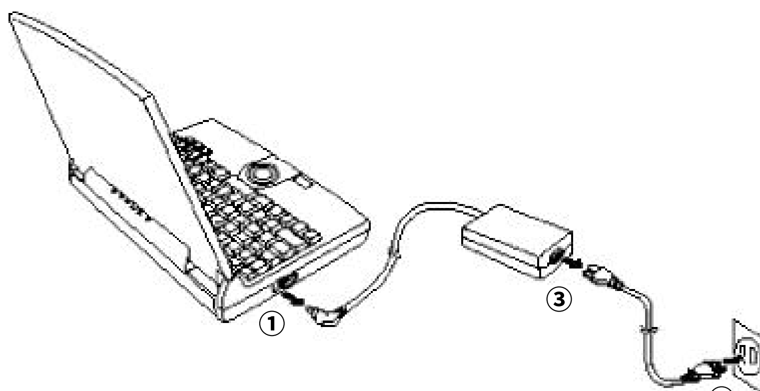
ここでは、I/Oボックスや別売りの周辺機器（フロッピーディスクドライブ、外部ディスプレイ、プリンターなど）の接続のしかた、PCカードやRAMモジュールのセットのしかたについて説明します。

I/Oボックスを取り付ける/取り外す

別売りのフロッピーディスクドライブや外部ディスプレイなどを接続するときは、まず、本体にI/Oボックスを取り付けてください。

1 操作を終わる。(→20ページ「通常の終了」)

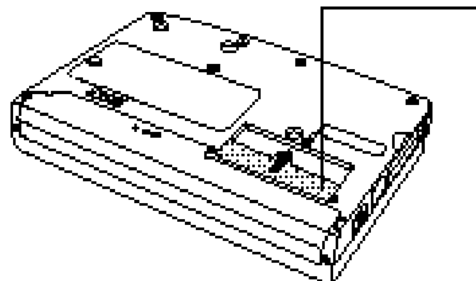
2 電源が切れたことを確認して、ACアダプターを取り外す。



3 ディスプレイを閉じて本体を裏返す。

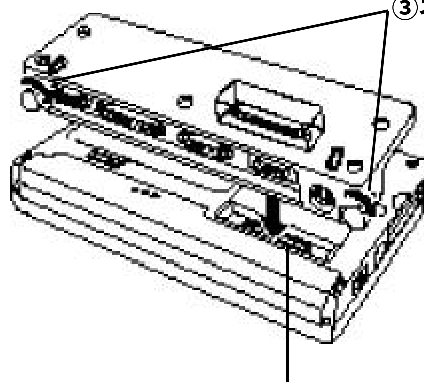
4 別売りの大容量バッテリーパックを取り付けている場合は、取り外す。(→29ページ)
（付属の標準バッテリーパック使用時は、取り外す必要はありません。）

5 ●I/Oボックスを取り付ける。

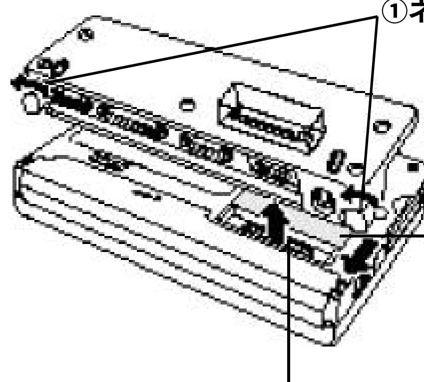


お願い

カバーは手で開けることができます。
カバーの周囲にあるネジは取り外さないでください。



●I/Oボックスを取り外す。



周辺機器を拡張する

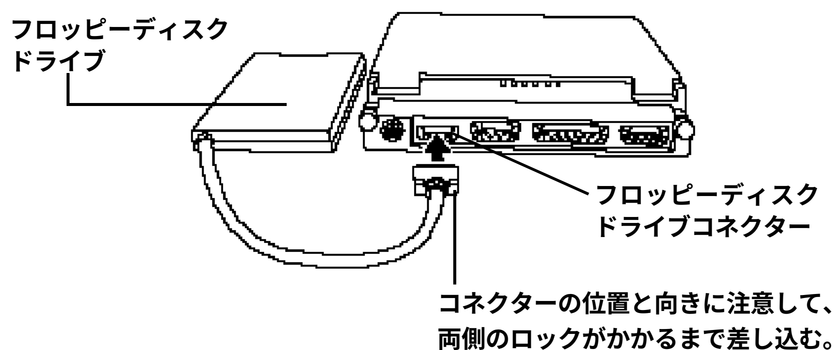
フロッピーディスクを使う

フロッピーディスクを使用するときは、別売りのフロッピーディスクドライブ（品番：CF-VFDU01J）を取り付けてください。

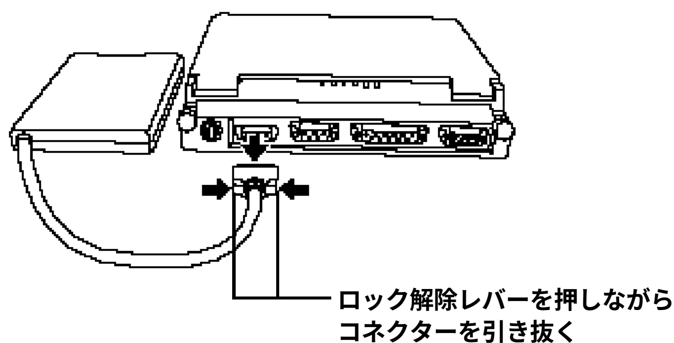
◆フロッピーディスクドライブの取り付け/取り外し

1 I/Oボックスを取り付ける。(→48ページ)

2 ●フロッピーディスクドライブを取り付ける。



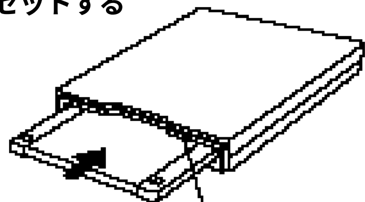
●フロッピーディスクドライブを取り外す。



使いかた

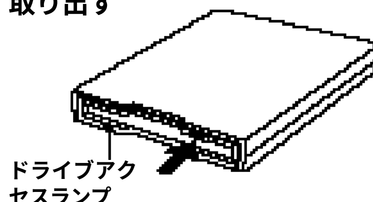
◆フロッピーディスクのセット/取り出し

セットする



フロッピーディスク取り出しボタンが飛び出すまで、確実に挿入する。

取り出す



ドライブアクセスランプが点灯していないことを確認した後、取り出しボタンを押す。

お願い

- ドライブアクセスランプ点灯中はフロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れる恐れがあります。
- フロッピーディスクドライブを持ち運ぶときや保管しておくときには、必ず、フロッピーディスクは取り出してください。

お知らせ

- 「読み出し」・「書き込み」とは
  フロッピーディスクのデータを本体のメモリー上に送ることを「読み出し」、メモリー上のデータをフロッピーディスクに送り、記録することを「書き込み」といいます。
- フォーマット
  新しいディスクは、磁気的に区画整理する必要があります。この作業を「フォーマット」(初期化)といいます。
- 使用できるフロッピーディスクの種類と記録容量
  フロッピーディスクには「2HD」と「2DD」の２種類があります。それぞれの記憶容量は次のとおりです。
  2HD　ー　1.44 Mバイト/1.2 Mバイト
  2DD　ー　720 Kバイト
  1.2 Mバイトのフロッピーディスクを読み書きするには、ドライバープログラムをインストールする必要があります。詳しくは、「1.2 Mバイトのフロッピーディスクの読み書き」（→78ページ）をご覧ください。

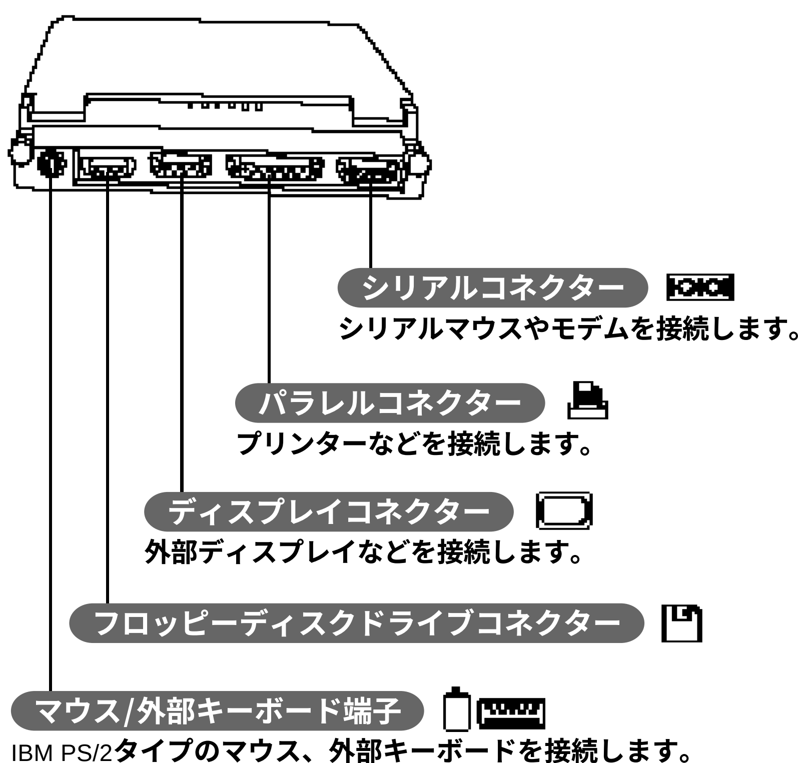
使いかた

周辺機器を拡張する

その他の周辺機器を接続する

1 I/Oボックスを取り付ける。(→48ページ)

2 各周辺機器を接続する。



お知らせ

各周辺機器の設定・準備などについては、各周辺機器に付属の説明書をお読みください。

お願い

各周辺機器の電源を入れてから、本機の電源を入れてください。

使いかた

RAMモジュールを使う

RAMモジュールを増設すると、メモリー容量を拡張することができます。
現在のメモリー容量は、セットアップユーティリティーの「システム構成」（→82ページ）で確認することができます。
64Mバイト（品番：CF-BAE0064J）と32Mバイト（品番：CF-BAE0032J）の２種類のEDOタイプのRAMモジュールを増設することができます。

お願い

RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内に溜まった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、端子などに触れないようにしてください。また、本体内部の部品や端子などにも触れないでください。

1 操作を終わる。(→20ページ「通常の終了」)

お願い

スタンバイや休止状態のときは、機器の取り付け・取り外しを行わないでください。機器が破損したり、正常に動作しないことがあります。

2 電源が切れたことを確認して、ACアダプターを取り外す。

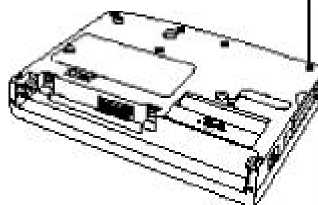
3 バッテリーパックを取り外す。(→29ページ)

4 本体裏面のネジ(1か所)を取り外す。

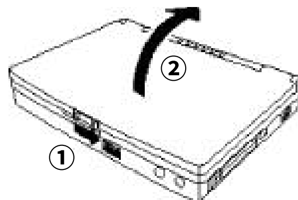
お願い

本体裏面には、多数のネジがありますので、ネジの位置に注意してください。
マーク以外のネジは取り外さないでください。

小型のプラスドライバーを使って、取り外す。

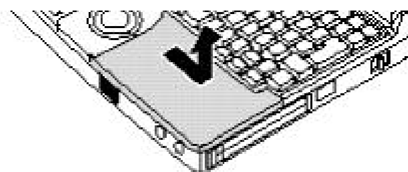


5 ディスプレイを開ける。

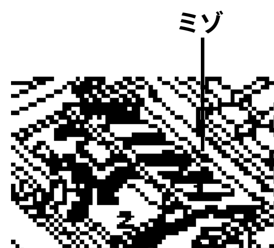


周辺機器を拡張する

6 カバーを開ける。



7 ●RAMモジュールを取り付ける

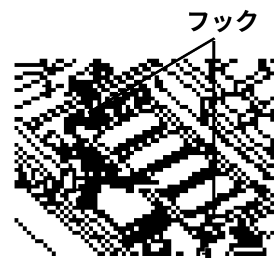


フック(左右にあります)がかかり､ロックされていることを確認してください｡

お願い

向きと角度に注意して差し込んでください。向きやミゾとの角度を間違うとうまく入りません。

●RAMモジュールを取り外す



8 カバーを閉じる。

9 本体裏面のネジを締める。

ディスプレイを閉じて本体を裏返し、小型のプラスドライバーでカバーの固定ネジ（１か所）を締めます。

10 バッテリーパックやACアダプターを取り付ける。

11 コンピューターの電源を入れて、下記に従って操作する。

①「システム起動エラー」（→62ページ）のメッセージが表示されたら、「セットアップユーティリティーを実行する。」を選んで Enter を押す。

②セットアップユーティリティが起動したら（→80ページ）、「システム構成」を選んで Enter を押す。

③拡張メモリーのサイズを確認して、 Esc を押す。

④設定を保存して、セットアップユーティリティーを終了する。

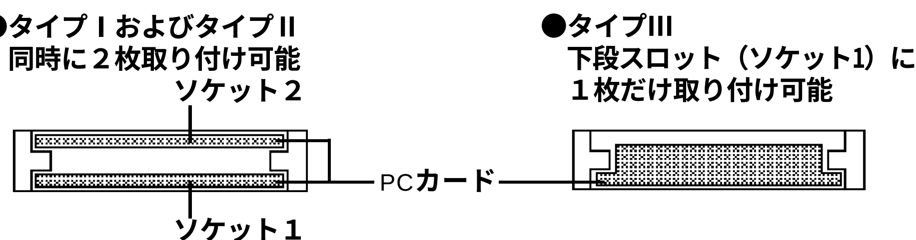
使いかた

PCカードを使う

本機にはPCカード用スロットが２つあります。
PCカードを使うことにより通信機能を利用したり、SCSI機器などの周辺機器を接続することができます。
カードは厚みによってタイプⅠ（3.3mm）、タイプⅡ（5.0mm）、タイプⅢ（10.5mm）の３つの種類に分けられます。

●タイプⅠおよびタイプⅡ
同時に２枚取り付け可能

●タイプⅢ
下段スロット（ソケット1）に１枚だけ取り付け可能



お願い

- ご使用の前に、必ず、PCカードの消費電力を確認してください。PCカードスロットの許容電流（２スロット合計の許容電流：3.3 Vで800 mA/5 Vで600 mA）を超えて使用すると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- タイプⅠおよびタイプⅡのPCカードでも、種類によっては２枚同時に使えない場合があります。
- 12Vの電源を必要とするPCカードは使用できません。
- PCカードの操作方法は、PCカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

ZVカード(Zoomed Videoポート対応PCカード)使用時のお願い
- ZVカードのドライバーソフトには、本機のPC Cardコントローラー（米国Texas Instruments社製　PCI1250A）に対応していないものもあります。購入時に販売店にご確認ください。
- カードによっては、上段スロットで使用できないものもあります。

CardBusタイプのカード使用時のお願い
- CardBusタイプ以外のカードとは同時に使用しないでください。
- 以下の場合、必ず電源を切ってから操作してください。
  ：もう1枚CardBusタイプのカードを取り付けるとき
  ：カードを交換するとき

ネットワークカード使用時のお願い
- 取り外す際は、必ず電源を切ってから操作してください。

使いかた

周辺機器を拡張する

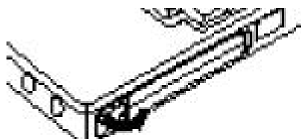
◆PCカード（またはダミーカード）の取り付け／取り出し

●PCカード（またはダミーカード）を取り出すとき

お願い

カードを取り出す場合は、下記手順に従ってまず、カードの使用を終了してください。「コントロールパネル」の[PCカード(PCMCIA)]をダブルクリックし、「PCカード（PCMCIA）のプロパティ」画面で取り出すPCカードを選んで、[停止]をクリックする。

①取り出しボタンの折れ曲がり部分を伸ばす。

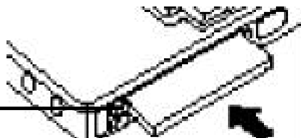


②取り出しボタンを押す。
カードが少し出てきますので、取り出してください。



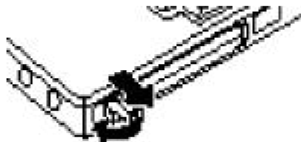
●PCカード（またはダミーカード）を取り付けるとき

①カードをPCカードスロットにしっかりと差し込む。



取り出しボタンが飛び出ます。

②取り出しボタンを完全に引き出してから、折り曲げる。



お知らせ

お買い上げ時にはダミーカードがセットされています。
ダミーカードはほこりや異物がスロット内に入るのを防ぐためのものです。大切に保管し、PCカードを取り出した後は、必ずダミーカードをセットしてください。

使いかた

困ったときに開くページ

本機を動かそうとして、思ったとおりに動かないことがあります。おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。また、ソフトウェアによる原因も考えられますので、Windowsやアプリケーションソフトなど各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

起動時の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作できない	●ACアダプターは、本体の電源端子および電源コンセントに差し込まれていますか？ ●ディスプレイを閉じた（パネルスイッチが押された）状態では、電源が入りません。ディスプレイを開けてから電源を入れてください。 ●十分充電されたバッテリーパックが正しく入っていますか？ ●本体裏面のリセットスイッチを押して、本機を再起動させたあと正常に動作しませんか？ ●本体のACアダプターおよびバッテリーパックをすべて外してから再度装着し､再起動させたあと正常に動作しませんか？ ●HDD内容が破壊されていませんか？ セットアップユーティリティーで｢起動ドライブ｣を｢FDD→HDD｣に設定した後、フロッピーディスクドライブに「Windows 98起動ディスク」*を挿入して再起動し、HDD内容を確認してください。*「アプリケーションの追加と削除」の「起動ディスク」で作成できます。
画面に何も表示されない	●省電力機能によって､自動的にディスプレイが消えることがあります｡いずれかのキーを押すと､元に戻ります。 ●セットアップユーティリティーで外部ディスプレイに設定した状態で、スタンバイや休止状態に入った後、外部ディスプレイを取り外して、リジュームを行っていませんか？この時は Fn + F3 を押してみてください。
画面上の日付/時刻の表示が違っている	●コントロールパネルを使って､またはセットアップユーティリティーを起動して正しい日付/時刻を設定してください。 ●日付/時刻の情報を保持しているクロックバッテリー(リチウム電池)が切れかかっているおそれがあります。 お買い上げの販売店または｢ご相談窓口｣にご相談ください。
パスワードを忘れた	●お買い上げの販売店または｢ご相談窓口｣にご相談ください。

困ったときに開くページ

操作中の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作中に本機が動かなくなった	●バッテリーパックを使って操作していたときは、バッテリーが切れた可能性があります。ACアダプターを接続してください。 ●使っていたアプリケーションソフト上の問題でシステムが止まってしまった可能性があります。そのソフトウェアの使用を中止し、リセットスイッチを押して本機を再起動してください。
バッテリー状態表示ランプが赤く点灯している または キー操作による残量表示で０％と表示された	●バッテリー残量がありません。ACアダプターを接続してください。 ●ACアダプターが正しく接続されていない可能性があります。正しく接続し直してください。 ●それでも直らない場合や、バッテリー残量はあるはずなのに赤色点灯や０%表示が続く場合は、「バッテリー容量を正確に表示させるために」（→30ページ）に従って操作をしてください。
バッテリー状態表示ランプが赤く点滅している	●バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。正しく装着し直してください。 ●それでも赤く点滅するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
使用中に「ピー・ピー」と音が鳴り始めた	●バッテリーが切れかかっています。ACアダプターを接続してください。
充電中にバッテリー状態表示ランプが消灯している	●ACアダプターとバッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。ACアダプターとバッテリーパックを取り外し、再度正しく装着し直してください。 それでも消灯するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
キー操作による残量表示では100%なのにバッテリー状態表示ランプのオレンジ色点灯が長く続く	●バッテリー状態表示ランプが緑色になるまで、充電を続けてください。

ディスプレイ画面の問題

こんなときは	ここをお調べください
画面が消えた	●省電力機能によって、ディスプレイの電源がオフになることがあります。その場合、いずれかのキーを押すと元に戻ります。
残像が残る	●イメージが画面に残ると、画面に焼きつき、残像となることがあります。これは、異常ではありません。別の画面が現れてしばらくたつと、残像は消えます。
画面に緑、赤、青のドットが残る	●これらのドットが残るのは、カラー液晶ディスプレイの特質です。故障ではありません。

ドライブの問題

こんなときは	ここをお調べください
フロッピーディスクドライブにアクセスしない	●フロッピーディスクドライブが正しく接続されていますか？ ●フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ●フロッピーディスクは初期化されていますか？ ●ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていませんか？
フロッピーディスクが初期化できない	●デスクトップ上の「マイコンピュータ」から[3.5インチFD(A:)]を選んで[ファイル]→[フォーマット]をクリックした後、ディスクの容量やフォーマットの種類を確認してフォーマットしてください。 ●1.2Mバイトのフロッピーディスクをフォーマットする場合 1.コンピューターの電源を入れる。 2.すぐに Ctrl を押す。 (ユーザーパスワードを設定している場合は、パスワード入力後、約1秒以内に Ctrl を押してください。) 3.メニュー画面で「Safe mode command prompt only」を選ぶ。 4. 全角／半角 を押す。 5.次のように入力する。cd \windows\command Enter fd3mode Enter format3 a: Enter 6.以降、画面のメッセージに従って操作する。
ハードディスクドライブにアクセスできない	●原因がわからない場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

困ったときに開くページ

周辺機器の問題

こんなときは	ここをお調べください
割り込み要求(IRQ)、I/Oポートアドレス等、アドレスマップがわからない	●「コントロールパネル」の[システム]アイコンをダブルクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックし、[コンピュータ]を選んで[プロパティ]をクリックする。
プリンターが動かない	●ケーブルが正しく接続されていますか？ ●プリンターの電源は入っていますか？ ●セットアップユーティリティーで「パラレルポート」を「378」「278」または「3BC」に設定してください。 ●適切なプリンタードライバーが選択されていますか？
マウスが使えない	●マウスケーブルが正しく接続されていますか？ ●マウスのデバイスドライバープログラムがロードされ、動いていますか？ 詳しくは、お使いのアプリケーション、またはマウスのプログラムのマニュアルを参照してください。 ●マウスがシリアルコネクターに接続されている場合は､セットアップユーティリティーで「トラックボール」を「無効」に設定してください｡その後、「シリアルポート」を「3F8(IRQ4)」か「2F8(IRQ3)」に設定してください。 ●PS/2マウスがマウス/外部キーボード端子に接続されている場合は、セットアップユーティリティーで「トラックボール」を「無効」に設定してください。
トラックボールが使えない	●マウスのデバイスドライバーのプログラムがロードされ、動いていますか？詳しくは、お使いのアプリケーションプログラムのマニュアルを参照してください。 ●セットアップユーティリティーの「トラックボール」の設定が「有効」になっていますか？
PCカードが使えない	●カードは正しくセットされていますか？ ●当社指定以外のカードを使用していませんか？ ●適切なドライバープログラムがインストールされていますか？

周辺機器の問題

こんなときは	ここをお調べください
PCカードが使えない	●PCカードが使用しているI/Oアドレス、IRQナンバー、チャンネルを確認し、設定し直してください。 ＜I/Oアドレス＞以下のアドレスをさけて設定し直してください。 I/O:0000H-00FFH　(システムボード) 1F0H-1F7H　(ハードディスクドライブ) 220H-22FH　(サウンド)*4 240H-24FH　(サウンド)*4 260H-26FH　(サウンド)*4 278H-27FH　(パラレルポート)*2 280H-28FH　(サウンド)*4 2F8H-2FFH　(赤外線通信ポート)*1 330H-331H　(サウンド) 370H-371H　(サウンド) 378H-37FH　(パラレルポート)*2 388H-38BH　(サウンド) 3B0H-3BBH　(VGA) 3BCH-3BFH　(パラレルポート)*2 3C0H-3DFH　(VGA) 3E0H-3E1H　(PCカードコントローラー) 3F0H-3F7H　(フロッピーディスクコントローラー) 3F8H-3FFH　(シリアルポート)*3 530H-538H　(サウンド)*5 600H-608H　(サウンド)*5 E80H-E88H　(サウンド)*5 F40H-F48H　(サウンド)*5 *1 赤外線通信(IrDA)ポートアドレスは、セットアップユーティリティーで2F8H、3F8H、"オフ"、"プラグ＆プレイ"のいずれかに設定できます。 *2 パラレルポートアドレスは、セットアップユーティリティーで278H、378H、3BCH、"オフ"、"プラグ＆プレイ"のいずれかに設定できます。 *3 シリアルポートアドレスは、セットアップユーティリティーで3F8H、2F8H、"オフ"、"プラグ＆プレイ"のいずれかに設定できます。 *4 サウンドポートアドレスは、セットアップユーティリティーで220H、240H、260H、280Hのいずれかに設定できます。 *5 サウンドポートアドレスは、セットアップユーティリティーで530H、600H、E80H、F40Hのいずれかに設定できます。 ＜IRQナンバー＞以下のいずれかに設定してください。 IRQ: 3*1, 4*2, 7*3, 9, 10, 11, 15 *1 IRQ3は通常、COM2(赤外線通信ポート)が使用しています。 *2 IRQ4は通常、COM1(シリアルポート)が使用しています。 *3 IRQ7は通常、プリンターに使用されます。 PCカードで、IRQ3またはIRQ4を使用するときは、セットアップユーティリティーでシリアルポートまたは赤外線通信(IrDA)ポートを「オフ」にしてください。

エラーコード一覧

ハードウェアの不良が発生した場合は、起動時に「システム起動エラー」の画面と共に以下のようなエラーコードが表示されます。
画面に表示されるメニューにしたがって操作してください。

セットアップ実行：セットアップユーティリティー（→76ページ）が起動します。このとき「デフォルト設定(Non-PnP)」を選んだ後、再度セットアップユーティリティーを起動し直し、適切な設定を行ってください。

終了：このエラーを無視し、そのままOSを起動します。

エラーコード	意味
062 Boot failure -- default configuration used	自己診断プログラム(POST)が中断され､システムボードにデフォルト設定が行われました。
101 システム・ボード・エラー	割り込みコントローラーのエラーです。
102 システム・ボード・エラー	タイマーのエラーです。
106 システム・ボード・エラー	フロッピーディスクコントローラーのエラーです。
151 システム・ボード・エラー	リアルタイムクロックのエラーです。
161 CMOS電池が壊れました	CMOSバッテリーのエラーです。
162 構成エラー	CMOSの設定が誤っています。
162 構成変更がありました	システム設定が変更されました。
163 日付と時刻の設定が違います	日付・時刻が設定されていません。
164 メモリー・サイズ・エラー	メモリー・サイズが変更されたと判断されました。
201 メモリー・サイズ・エラー	メモリーのデータエラーです。
1780 ハードディスク・エラー	ハードディスクのエラーです。
その他のエラーメッセージ	自己診断プログラムがエラーを発見しました。

再インストールのしかた

ハードディスクの内容が壊れてしまった場合などには、もう一度プログラムをインストールすることができます。
ただし、「ファーストエイドFD作成」プログラム（→23ページ）は再インストールすることができません。

再インストールの準備

1 下記のものを準備する。
●あらかじめ作成しておいたバックアップディスク２枚（→23ページ）
必ず、ライトプロテクトタブを書き込み禁止の状態にしておいてください。
●Windows 98　CD-ROM（付属）
●ファーストエイドCD（付属）
●I/Oボックス（付属）
●フロッピーディスクドライブ（別売）
●CD-ROMドライブ（別売）
・「再インストールのための準備」（→24〜26ページ）を行ったCD-ROMドライブを準備してください。
・ハードディスクのパーティションを変更したり、フォーマットを行う前に、「CD-ROMセットアップ起動ディスク」で起動して、CD-ROMドライブが認識できるか確認してください。
確認方法　→25ページ
（確認の際には手順③と④は必要ありません。手順②の後、手順⑤に進んでください。）

2 ハードディスクを圧縮している場合は、Windowsを起動して解除する。

お知らせ
Windowsを起動できない場合などで圧縮を解除できないときは、67ページの手順2を行う前に、「パーティションをお買い上げ時の状態に戻す場合」または「パーティションを設定し直す場合」のどちらかの操作を行ってください。

3 Windowsを終了して操作を終わり（→20ページ「通常の終了」）、電源が切れたことを確認してACアダプターを取り外す。

4 フロッピーディスクドライブを取り付ける。（→50ページ）
その他の周辺機器はすべて取り外してください。

5 ACアダプターを接続する。

再インストールのしかた

再インストールを始める前に

Windows 98は下記の２とおりのモードのどちらかで再インストールすることができます。

- APM（Advanced Power Management）モード
  主にBIOSが制御するパワーマネージメントモードです。
  お買い上げ時はAPMモードです。パワーマネージメント機能を最適な状態で使用していただくため、通常はこちらを選択してください。
- ACPI（Advanced Configuration and Power Interface）モード
  主にOSが制御するパワーマネージメントモードです。
  多くの制限事項がありますのでご注意ください。再インストールを始める前に、制限事項（下記および[プログラム]→[Panasonic]→[CF-M32 補足説明]）をよくお読みください。

◆ACPIモードで再インストールする場合の制限事項

＜パワーマネジメント＞

ACPIモードでは、省電力機能が正しく動作しません。

スタンバイと休止状態

●スタンバイまたは休止状態から復帰したときに、画面が黒くなることがあります。
　キーボードやマウスを使用すると、正常に画面が表示されます。

●[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]で「ハードディスクコントローラ」　の「セカンダリIDEコントローラ」を削除すると、休止状態に入ることができなくなります。

電源の管理

●「電源の管理」で「休止状態をサポートする」を有効にしている場合、各設定項目でスタンバイに設定していても、動作はすべて休止状態になります。

● タスクバーの電源アイコンや電源メーターの設定は、ACアダプターを抜き差ししてもすぐには変更されません。

セットアップユーティリティー

●「省電力設定」の設定は、正しく働きません。

例えば）・「CPUスピード」は設定値にかかわらず、100%になります。そのため、バッテリーの稼働時間が短くなります。

・「LCDバックライト」において、ACアダプターとバッテリーパックの切り替えを自動的に認識し、設定を切り替える機能は働きません。Fn + F2 を使って設定を切り替えてください。

●ユーザーパスワードを設定していても、リジューム時には働きません。

キーコンビネーション

下記のキーは動作しません。

Fn + F7 、Fn + F8 、Fn + F10

＜一般動作＞

●休止状態からリジュームしたときは、IntelliSyncを正常に起動できません。Windowsを再起動してから、IntelliSyncを起動するようにしてください。

●「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再起動する」を実行した場合は、シリアルポートを使用できません。

●インターフェースカードをセットした状態で本機を起動すると、CD-ROMドライブを認識できないことがあります。
（［コントロールパネル］－［システム］－［デバイスマネージャ］の「CD-ROMドライブインターフェースコントローラ」に ! マークが付きます。）
そのような場合は、電源を切った状態でカードを取り出し、電源を入れた後、再度セットしてください。

◆ACPIモードで再インストール時のお願い（インターフェースカードCF-JSC301(→25ページ)をお使いの場合）

インストール操作中に「Windowsを終了しています」の画面が表示された状態で停止することがあります。このような場合は、電源スイッチを４秒以上スライドさせて、いったん電源を切ってください。
その後、電源スイッチを約１秒間スライドさせて電源を入れ、操作を続けてください。

再インストールのしかた

再インストールのしかた

ハードディスクのパーティションをお買い上げ時の状態から変更した方は

●変更したパーティションをそのままの状態にしておく場合

下記手順*1*に進んでください。

●パーティションをお買い上げ時の状態に戻す場合

①「ファーストエイドFD」をフロッピーディスクドライブにセットし、電源を入れる。
②「2.ハードディスクのパーティションと休止状態用データ領域を出荷状態に戻す。」を選ぶ。
③確認メッセージが表示されたら、Y を押す。
④「休止状態用データ領域を作成しました」というメッセージが表示されたら、ファーストエイドFDがフロッピーディスクドライブにセットされていることを確認し、任意のキーを押す。

自動的に再起動されます。その後、下記手順*1*の②に進んでください。

●パーティションを設定し直す場合

①「ファーストエイドFD」をフロッピーディスクドライブにセットし、電源を入れる。
②「1.DOS で起動する。」を選ぶ。
③ FDISK コマンドを使って、すべての領域を削除する。
④ HBUTIL コマンドを使って休止状態用データ領域を作成する（→ 76 ページ）。
⑤ FDISK コマンドを使って、MS-DOS 領域を作成する。
⑥ Alt + Ctrl + Del を押して、コンピューターを再起動する。
⑦「1.DOS で起動する。」を選ぶ。
⑧作成した各 MS-DOS 領域をフォーマットする。

その後、電源を切って次ページの手順*2*に進んでください。

お願い

Windows のシステムは、必ず C ドライブに再インストールしてください。

1 Cドライブをフォーマットする

①「ファーストエイドFD」をフロッピーディスクドライブにセットし、コンピューターの電源を入れる。
以下の画面が表示されます。

メインメニュー
1. DOSで起動する。 2. ハードディスクのパーティションと休止状態用データ領域を出荷状態に戻す。 3. Cドライブをフォーマットする。

選択してください。(1/2/3)>>

②「3.Cドライブをフォーマットする」を選ぶ。
③確認のメッセージが表示されたら、Y を押す。
フォーマット終了後、任意のキーを押すと自動的に電源が切れます。

2 Windows 98を再インストールする

以降の操作の中で、APMモードにのみ必要な手順については APM マークを、ACPIモードにのみ必要な手順については ACPI マークを付けています。

①CD-ROMドライブを取り付けて、CD-ROMドライブの電源を入れる。
②「CD-ROMセットアップ起動ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、コンピューターの電源を入れる。
③「Press F1 for Setup」が表示されているときに、F1を押し、セットアップユーティリティーを起動する。（→80ページ）
④ APM 「デフォルト設定(Non-PnP)」を選んで、Enter を押す。
確認メッセージが表示されたら、Enter を押す。

ACPI
- Panasonic製の推奨CD-ROMドライブ（→25ページ）：KXLシリーズをお使いの場合
  「デフォルト設定(PnP)」を選んで、Enter を押す。
  確認メッセージが表示されたら、Enter を押す。
- Panasonic製の推奨CD-ROMドライブ（→25ページ）：LF-1500J/JDN、LF-1600JB、LF-1700JBをお使いの場合
  「デフォルト設定(Non-PnP)」を選んで、Enter を押す。
  確認メッセージが表示されたら、Enter を押す。
- 推奨品以外のCD-ROMドライブをお使いの場合
  「デフォルト設定（Non-PnP）」を選んで Enter を押す。
  確認のメッセージが表示されたら、Enter を押す。
  （70ページの＜CD-ROMドライバーのインストール＞の操作を行ったあと、Windows 98 CD-ROMの挿入を促すメッセージが表示された場合は、ドライバーのインストールが正しく行われていません。その場合は、もう一度、66ページの手順1から操作をやり直し、今度は「デフォルト設定（PnP）」を選んでください。）

再インストールのしかた

お願い

前ページ手順④で「デフォルト設定（PnP）」を選んだ場合は、再インストールがすべて終了したあと､セットアップユーティリティーの設定を｢デフォルト設定（Non-PnP）」に戻しておいてください。

⑤設定を保存して、セットアップユーティリティーを終了する。
コンピューターが再起動します。

⑥「再インストールを実行しますか」というメッセージが表示されたら、
Y を押す。

⑦ファーストエイド CDの挿入指示が表示されたら、付属の「ファーストエイド CD」をセットして任意のキーを押す。

⑧Windows 98 CD-ROMの挿入指示が表示されたら、付属の「Windows 98 CD-ROM」をセットして任意のキーを押す。

⑨「Windows 98のパワーマネージメントモードを選択してください。」というメッセージが表示されたら、APMかACPIかを選択する。

⑩「システムのチェックを行います」というメッセージが表示されたら、
Enter を押す。
Microsoft ScanDiskが起動した後、「Windows 98セットアップへようこそ」画面が表示されます。
画面に表示されるメッセージに従って、インストールを続けてください。

⑪「ディレクトリの選択」画面が表示されたら、[C:\WINDOWS]を選択して[次へ]をクリックする。

お知らせ

- 以前のシステムやデータが残っている場合には、「C:\WINDOWS」以外のディレクトリーが表示されることがあります。その場合はハードディスクのパーティションをお買い上げ時の状態に戻した後、もう一度手順1の操作からやり直してください。

⑫「セットアップ方法」画面が表示されたら、[標準]を選択して[次へ]をクリックする。

⑬「Windowsファイルの選択」画面が表示されたら、[インストールするオプションファイルを選択する]の左側の○をクリックして、チェックマークを付けてから[次へ]をクリックする。

⑭「インストールするファイル」画面が表示されたら、必要なアプリケーションを選択する。

お買い上げ時の設定にするには、各項目を次のように設定してください。

項目	選択肢
インストールするファイル	Microsoft Outlook Express
	アクセサリ（すべて選択）
	インターネットツール（Web-Based Enterprise Mgmt以外を選択）
	オンラインサービス（すべて選択）
	システムツール（Microsoftバックアップ以外を選択）
	デスクトップテーマ（すべて選択）
	マルチメディア（すべて選択）
	ユーザー補助（すべて選択）
	通信（Microsoft Chatとハイパーターミナルを追加）

⑮選択が終わったら、[次へ]をクリックする。

⑯「識別情報」画面が表示されたら、「コンピュータ名」「ワークグループ」および「コンピュータの説明」を入力し、[次へ]をクリックする。
「コンピュータ名」と「ワークグループ」は必ず入力してください。半角15文字以内で、スペースは使用できません。
これらはWindows 98起動後に、[コントロールパネル]→[ネットワーク]→[識別情報]で変更することもできます。

⑰「地域の選択」画面が表示されたら、「日本」が選ばれていることを確認して[OK]をクリックする。

⑱「起動ディスク」画面が表示されたら[次へ]をクリックし、「ディスクの挿入」画面で起動ディスクを作成する場合は[OK]、作成しない場合は[キャンセル]をクリックする。
作成する場合、以降は画面のメッセージに従って操作してください。
起動ディスクの作成が完了したら、フロッピーディスクをドライブから取り出してください。

⑲「コピー開始」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする。

⑳「ユーザー情報」画面が表示されたら、名前と会社名を入力して[次へ]をクリックする。

㉑「使用許諾契約書」画面の内容をよく読んだ後、「同意する」の左横の○をクリックし、[次へ]をクリックする。

㉒「プロダクト キー」画面が表示されたら、付属の『ファーストステップガイド』の表紙に記入されている番号を入力し、[次へ]をクリックする。

㉓「ウィザードの開始」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
各種設定が自動的に行われた後、Windowsが起動します。

再インストールのしかた

＜CD-ROMドライバーのインストール＞

①「PCカード（PCMCIA）ウィザード」画面で「PCカードをWindowsのインストールに使っていますか？」というメッセージが表示されたら、[はい]の左側の○をクリックして[次へ]をクリックする。

②「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、CD-ROMドライブに付属の説明書に従って、ドライバーをインストールする。

Panasonic製の推奨CD-ROMドライブ（→25ページ）をお使いのかたは下記手順に従ってドライバーをインストールしてください。

●LF-1500J/JDNまたはKXLシリーズをお使いの場合

(1)「SCSIコントローラ」を選んで[次へ]をクリックする。
(2)[ディスク使用]をクリックする。
(3)CD-ROMドライブに付属のフロッピーディスクをセットして、「配布ファイルのコピー元」に「A:\」と表示されていることを確認し、[OK]をクリックする。
(4)[次へ]をクリックし、もう一度[次へ]をクリックする。
(5)フロッピーディスクを取り出して、[完了]をクリックする。

●LF-1600JBまたはLF-1700JBをお使いの場合

(1)「SCSIコントローラ」を選んで[次へ]をクリックする。
(2)・インターフェースカードCF-JSC201をお使いの場合は、「Panasonic」を選んで「Panasonic CF-JSC201 Fast SCSI Card」を選ぶ。
・インターフェースカードCF-JSC301をお使いの場合は、「AdvanSys」を選んで「AdvanSys PCI SCSI Host Adapter」を選ぶ。
(3)[次へ]をクリックし、もう一度[次へ]をクリックする。
(4)[完了]をクリックする。

③「システムファイルを確認して、Windowsが使用不可にするリアルモードPCカードドライバを選びますか？」というメッセージが表示されたら、[いいえ]をクリックし、[次へ]をクリックする。

④インストール完了のメッセージが表示されたら[完了]をクリックする。

＜日付・時刻とパスワードの設定＞

①「日付と時刻のプロパティ」の画面では[閉じる]をクリックする。

②Windows起動時に「Windowsパスワードの入力」画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]をクリックする。
パスワードは省略することもできます。

＜システムのプロパティの変更＞

①[スタート]→[設定]→「コントロールパネル」の[システム]アイコンをダブルクリックする。

②「システムのプロパティ」の[デバイスマネージャ]タブをクリックする。
③「CD-ROM」の左横の⊞をクリックして、下に表示されたCD-ROMドライブを選んで[プロパティ]をクリックする。
④[設定]タブをクリックして、「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ文字」と「終了ドライブ文字」の両方を「L:」に設定して、[OK]をクリックする。
⑤[閉じる]をクリックし、「再起動しますか」というメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。
自動的に再起動されます。

3 システムの再設定をする

＜ファイルのインストール＞

①[スタート]→[ファイル名を指定して実行]で、「c:\panaapp\install.exe」と入力して[OK]をクリックする。
②「インストールプログラムを開始します」と表示されたら、[OK]をクリックする。
③「インストールプログラムが終了しました」と表示されたら、[OK]をクリックする。
④[スタート]→[Windowsの終了]をクリックし、[電源を切れる状態にする]を選んで、[OK]をクリックする。
コンピューターの電源が切れます。
⑤CD-ROMドライブを取り外した後、コンピューターの電源を入れる。

困ったときは

4 ACPI ハードディスクコントローラーを設定する

（ACPIモードで再インストールする場合のみ必要です。）

①Windowsが起動したら、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックする。
②[デバイスマネージャ]タブをクリックし、「ハードディスクコントローラ」の左側の⊞をクリックする。
③「Intel 82371AB/EB PCI Bus Master IDE Controller」を選んで[プロパティ]をクリックする。
④[設定]タブをクリックし、[デュアルIDEの設定]を「両方のIDEチャネルを使用可能にする」に設定する。
⑤[OK]をクリックし、もう一度[OK]をクリックする。
⑥再起動を促すメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

再インストールのしかた

5 ディスプレイの設定1をする

①[コントロールパネル]の[画面]アイコンをダブルクリックする。
②[設定]タブをクリックし、[詳細]をクリックする。
③[モニタ]タブをクリックし、[変更]をクリックする。
④「モデル」を[Super VGA 1024×768]に設定し、[OK]をクリックする。
⑤「全般」の「互換性」で「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選択する。

6 ビデオドライバーを設定する

①「アダプタ」タブの[変更]をクリックし、[次へ]をクリックする。
②「特定の場所にあるすべてのドライバの…」を選択して、[次へ]をクリックする。
③[ディスク使用]をクリックし、「配布ファイルのコピー元」に「c:\util\drivers\video」と入力して[OK]をクリックする。
④「NeoMagic MagicGraph 128XD」と表示されていることを確認して[OK]をクリックする。
⑤[次へ]をクリックし、[完了]をクリックする。
⑥「画面のプロパティ」画面に戻って[閉じる]をクリックする。
⑦再起動を促すメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。

困ったときは

7 ディスプレイの設定2をする

①[コントロールパネル]の[画面]アイコンをダブルクリックする。
②「設定」で「色」を「High Color（16ビット)」に設定する。
③「画面の領域」が「800×600 ピクセル」であることを確認し[適用]をクリックする。
④「詳細」の[全般]をクリックし、「タスクバーに設定インジケータを表示する」にチェックマークを付けて[OK]をクリックする。
⑤[OK]をクリックする。

8 サウンドドライバーを設定する

①[コントロールパネル]の[システム]アイコンをダブルクリックする。
②[デバイスマネージャ]タブをクリックし、「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の左側の⊞をクリックする。
③「YAMAHA OPL3-SAx WDM Driver」を選んで[プロパティ]をクリックする。
④[ドライバ]→[ドライバの更新]をクリックし、[次へ]をクリックする。
⑤「特定の場所にあるすべてのドライバの…」を選択して、[次へ]をクリックする。

⑥[ディスク使用]をクリックし、「配布ファイルのコピー元」に「c:\util\drivers\soundvxd」と入力して[OK]をクリックする。
⑦「YAMAHA OPL3-SAx Sound System」と表示されていることを確認して[OK]をクリックする。
⑧[次へ]をクリックし、[完了]をクリックする。
⑨ APM [閉じる]をクリックし、もう一度[閉じる]をクリックする。
ACPI 再起動を促すメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

9 パワーマネージメントの設定をする

① APM [スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
② APM 「名前」に「c:\panaapp\powerm98\setup.exe」と入力して、[OK]をクリックする。
③ APM 画面に表示されるメッセージに従ってインストールする。
コンピューターを再起動するかどうかの確認メッセージが表示されたら、[はい]を選んで[終了]をクリックする。
④「コントロールパネル」の[電源の管理]アイコンをダブルクリックする。
⑤[電源設定]タブをクリックして、「電源設定」を「ポータブル/ラップトップ」に設定する。
⑥[OPL3-SAx電源管理]タブをクリックして、「電力消費の程度」を「普通に節約」に設定し、[OK]をクリックする。

困ったときは

10 各種アプリケーションをインストールする

＜IntelliSync® for Notebooks＞
①[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
②「名前」に「c:\util\drivers\irda98\setup.exe」と入力し、[OK]をクリックする。
③画面に表示されるメッセージに従ってインストールする。
・「赤外線デバイスの設定を行いますか」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。
・「デバイスの選択」画面では「Panasonic Notebook Computer」を選び、「ボーレートの選択」画面では「4000000」を選ぶ。
④インストール完了後、「コントロールパネル」の[赤外線モニタ]アイコンをダブルクリックする。

再インストールのしかた

⑤[基本設定]タブの「タスクバーに赤外線の状態を表示する」のチェックマークを外し、[OK]をクリックする。
・[スタート]→[プログラム]→[IntelliSync」のオンラインマニュアル（PDF形式）を見るには、Adobe社製Acrobat Readerが必要です。
Acrobat Readerをお持ちでない方はクイックリファレンスガイド（ワードパッド形式）をご覧ください。

<Hi-HO入会手続きと愛用者オンライン登録>
①CD-ROMドライブを接続して「ファーストエイドCD」をセットする。
②[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
③「名前」に「L:\hi-ho\install.bat」と入力し、[OK]をクリックする。
（ ACPI CD-ROMドライブが認識できない場合→65ページ）
④ファイルのコピーが完了したら、「完了」画面の右上の⊠をクリックする。

<NIFTY Manager>
他のアプリケーションはすべて終了してください。
終了しないで操作すると、手順⑤の画面が他のアプリケーションの背後に隠れてみえない場合があり、インストールが途中で止まってしまったと勘違いすることがあります。そのような際には、Alt + ESC を押して手順⑤の画面を前面に表示してください。
①「ファーストエイドCD」をCD-ROMドライブにセットする。
②[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
③「名前」に「L:\nifty\setup.exe」と入力し、[OK]をクリックする。
④画面に表示されるメッセージに従ってインストールする。
⑤「デスクトップにNIFTY…のショートカットを置きますか？」と表示されたら、[はい]をクリックする。
⑥READMEファイルをすぐに読む場合は[はい]、読まない場合は[いいえ]をクリックする。
・最新のREADMEファイルをご覧になりたい方は、ファーストエイドCDの「L:\nifty\document\readme.txt」をご覧ください。
⑦セットアップが完了したら[OK]をクリックする。

<Mouse Ware>
①「ファーストエイドCD」をCD-ROMドライブにセットする。
②[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
③「名前」に「L:\mware98\setup.exe」と入力し、[OK]をクリックする。
④画面に表示されるメッセージに従ってインストールする。
・インストール完了後、トラックボールの設定を行う場合→79ページ

ソフトウェア使用許諾書

この製品にインストールされているソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことがご使用の条件になっています。

第1条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属フロッピーディスク、マニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第4条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、コンピューター1台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

第5条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

第6条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第7条　免責
本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等はその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

第8条　その他
上記第6条のアフターサービスには、付属の「ソフトウェアサポートカード」が必要です。本ソフトウェアのバックアップと併せて大切に保管してください。

休止状態用データ領域の作成

休止状態に入るには、ハードディスク上にメモリーの内容を保存するためのデータ領域を確保しておく必要があります。
必要なエリア容量：メインメモリーの容量 ＋ 約2Mバイト
お買い上げ時には、約98Mバイトの領域が確保されています。
データ領域は、通常は変更する必要はありませんが、ハードディスクのパーティションを変更したときなどには確保し直す必要があります。

休止状態用データ領域は、「ファーストエイドFD」のHBUTILコマンドを使って作成します。
ここでは、HBUTILコマンドの使用方法について説明します。

HBUTILコマンドの使用方法

お願い

- HBUTIL.EXEは「ファーストエイドFD」から実行してください。Windowsの「MS-DOSプロンプト」などから実行すると、正常に起動しません。
- データエリアの作成や削除などを行った後は、すぐに再起動してください。

「HBUTIL」には下記のオプションがあります。コマンドとオプションの間は、１スペース空けて入力してください。

オプション	内容
P ［サイズ］	休止状態用データ領域を作成します。 [サイズ]にはメインメモリーの容量をメガバイト単位で指定します。[サイズ]を省略すると､現在の実装メモリーに従って領域を作成します。 [サイズ]に0を指定すると、すでに設定されているデータ領域を削除することができます。 （例）HBUTIL P 96 メインメモリーが96Mバイト（オンボードメモリー＋64Mバイト RAMモジュール装着時）以下の状態で休止状態に入るために必要な領域を作成します。
I	休止状態用データ領域に関する情報を表示します。
/?	HBUTILコマンドの使用方法などを表示します。

<HBUTILのエラーメッセージ>

画面表示	原因・対策
まだディスクに領域管理情報が書き込まれていません。	何らかの理由で、領域の管理情報が存在しません。FDISKコマンドで領域の管理情報を初期化する必要があります。 まず、FDISK /MBRコマンドを実行し、続いてもう一度FDISKコマンドを実行して、存在している「基本MS-DOS領域」を削除してください。 再起動の後、もう一度、HBUTILコマンドを実行してください。
十分な容量を持った空き領域が見つかりませんでした。	休止状態用データ領域を作成するためには、十分な容量を持った空き領域が必要になります。 既存の領域を削除するなどして、空き領域を作成してください。

1.2Mバイトのフロッピーディスクの読み書き

1.2Mバイトのフロッピーディスクを読み書きする場合は、以下の手順に従ってWindows用の３モードFDドライバーをインストールしてください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順に選び、[ハードウェアの追加]アイコンをダブルクリックする。
2 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面で[次へ]をクリックし、もう一度[次へ]をクリックする。
3 [いいえ]を選んで[次へ]をクリックする。
4 「ハードウェアの種類」で[フロッピーディスクコントローラ]をクリックして、[次へ]をクリックする。
5 [ディスク使用]をクリックし、「配布ファイルのコピー元」に「c:\util\drivers\3mode」と入力して[OK]をクリックする。
6 「パナソニック３モードフロッピーディスク(Let's noteシリーズ)」が表示されていることを確認し、[次へ]をクリックする。
7 [完了]をクリックする。
8 ファイルのコピー画面で、「ファイルのコピー元」に「c:\util\drivers\3mode」と入力されていることを確認し[OK]をクリックする。
9 「今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。

トラックボールの詳細設定

MouseWareプログラムを使用すると、トラックボールの動作に関して詳細な設定ができるようになります。設定の手順は次のとおりです。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[マウス]をダブルクリックする。

2 「マウスのプロパティ」画面が表示されたら各設定を行う。
主な設定内容
●「移動」の「スマートムーブ」を設定すると、ダイアログボックスのデフォルトボタンにポインタを自動的に合わせることができます。
お買い上げ時には、「スマートムーブ」は設定されていません。
●「ボタン」では、以下の3とおりについてボタンの機能を設定できます。
・「前ボタン」を押したとき（項目３）
・「後ボタン」を押したとき（項目１）
・「前ボタン」と「後ボタン」を同時に押したとき（項目２）
（例）「後ボタン」を「スクロールバー（縦）」に設定しておくと…
「後ボタン」を押すとアクティブウィンドウの横向きのスクロールバーにカーソルが移動します。その後は、クリックボタンを使わずに、トラックボールを回転させるだけで、スクロール操作を行うことができます。
お買い上げ時には「１：クリック／選択」「２：自動スクロール」「３：コンテキスト メニュー／代替選択」に設定されています。

お知らせ

• MouseWareがインストールされていると、一部の外部マウスが正常に動作しない場合があります。問題が発生した場合は、「アプリケーションの追加と削除」で「マウスウェア」を削除してください。

セットアップユーティリティー

ここでは、動作環境を設定するためのユーティリティー（セットアップユーティリティー）について説明します。

起動する

1 Windowsを終了して再起動する。
[スタート]→[Windowsの終了]をクリックし、[再起動する]を選んで[OK]をクリックする。

2 「Press F1 for Setup」が表示されているときに F1 を押す。

お知らせ

- F1 を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティーは起動しません。その場合は、Windowsを終了して再度やり直してください。
- が表示されたらパスワードを入力して Enter を押してください。ユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方を設定している場合で、「スーパーバイザー設定」を変更したいときは、スーパーバイザーパスワードを入力してください。ユーザーパスワードを入力すると、メイン画面に「スーパーバイザー設定」と「デフォルト設定」の項目が表示されません。

セットアップユーティリティー

- システム構成 ―― 82ページ
- システム設定 ―― 82ページ
- 省電力設定 ―― 85ページ
- スーパーバイザー設定 ―― 90ページ

設定を保存する
設定を戻す
デフォルト設定(PnP)
デフォルト設定(Non-PnP)

終了

デフォルト設定(Non-PnP)：すべての設定を標準の状態に戻します。(プラグ＆プレイ設定は行いません。)お買い上げ時には、「デフォルト設定(Non-PnP)」に設定されています。
デフォルト設定(PnP)：すべての設定を標準の状態に戻します。(プラグ＆プレイ設定を行います。)
設定を戻す：セットアップユーティリティー起動時の状態、または「設定を保存する」で保存した状態に戻します。

キー操作

下記のキーのうち、画面下側に表示されているものが使用できます。

F1 :操作方法が画面に表示されます

↑ ↓ :カーソルが上下に移動します。項目を選ぶときに使用します。

→ :各項目で設定値を選ぶときに使用します。
次の候補を表示します。

← :各項目で設定値を選ぶときに使用します。
一つ前の候補を表示します。

F9 :各項目の設定値を変更前の状態に戻します。

F10 :各項目の設定値を標準の状態に戻します。

Esc :一つ前の画面に戻ります。
セットアップユーティリティーの初期画面で押すと、セットアップユーティリティーを終了します。

Enter : ↑ ↓ で項目を選んだ後に押すと、各設定項目のサブメニュー画面が表示されます。

終了する

1 [終了]を選び Enter を押す。

2 設定を保存して終了するか、保存せずに終了するかを選び、Enter を押す。
コンピューターが再起動し、Windowsが起動します。

お知らせ

ユーザーパスワードを設定している(→43ページ)場合は、Windowsが起動するまでに、パスワードの入力が必要になります。

セットアップユーティリティー

システム構成

セットアップユーティリティーを起動して（→80ページ）、[システム構成]を選んで Enter を押す。

デフォルト設定時の画面例(*にはバージョン番号が表示されます。)

システム構成	
システム・メモリー	640 KB
拡張メモリー	31 MB
BIOSバージョン	V***L**

現在のメモリー容量やBIOSのバージョンを確認することができます。

システム設定

セットアップユーティリティーを起動して（→80ページ）、[システム設定]を選んで Enter を押す。

デフォルト設定時の画面例

システム設定	
NumLK	[オフ]
トラックボール	[有効]

・日付と時刻 83ページ
・ビデオ設定 83ページ
・ユーザーパスワード 43ページ

トラックボールを使用するかどうかを設定します。外部マウスが正常に動作しない場合は、[無効]に設定してください。

起動時にテンキー（キー上に青色で印刷された数字など）による入力を有効にするかどうかを設定します。

日付と時刻

セットアップユーティリティーを起動して（→80ページ）、[システム設定]を選んで Enter を押し、[日付と時刻]を選んで Enter を押す。

下記画面は一例です。

日付と時刻	
時刻	[12:30:25]
日付	[1998-12-12]

コンピューターに設定されている日付と時刻を確認できます。また、設定を変更することができます。

ビデオ設定

セットアップユーティリティーを起動して（→80ページ）、[システム設定]を選んで Enter を押し、[ビデオ設定]を選んで Enter を押す。

デフォルト設定時の画面例

ビデオ設定	
ディスプレイ	[外部ディスプレイ]
テキスト拡張表示	[無効]
グラフィックス拡張表示	[無効]

日本語DOSモードなど、グラフィックスモードで640×480サイズ以下の画面をLCDいっぱいに拡張して表示したい場合は、[有効]にします。

英語DOSモードなど、テキストモードで640×480サイズ以下の画面をLCDいっぱいに拡張して表示したい場合は、[有効]にします。

起動時、どのディスプレイに表示するかを[内部LCD][外部ディスプレイ][同時表示]の中から選びます。

お知らせ

[外部ディスプレイ]や[同時表示]に設定していても、起動時に外部ディスプレイが接続されていない場合は、内部LCD表示となります。

◆表示可能な解像度・色数

	ディスプレイ設定		
	外部モニター	内部LCD	同時表示
640×480 16色	○	○*1	○*1
640×480 256色	○	○*1	○*1
640×480 65,536色（High Color）	○	○*1	○*1
640×480 16,777,216色（True Color）	○	○*1*2	○*1*2
800×600 256色	○	○	○
800×600 65,536色（High Color）	○	○	○
800×600 16,777,216色（True Color）	○	○*2	○*2
1024×768 256色	○	○*3	○*3
1024×768 65,536色（High Color）	○	○*3	○*3

*1画面の中央に小さく表示されます。
*2内部LCDには、262,144色までの表示が可能です。
*3画面全体の一部（800×600の範囲）が表示されます。
カーソルを画面の端に移動すると、画面表示がスクロールします。

省電力設定

セットアップユーティリティーを起動して（→80ページ）、[省電力設定]を選んで Enter を押す。
「コントロールパネル」の「電源の管理」でも省電力の設定を行うことができます。（→36ページ）

デフォルト設定時の画面例

省電力設定	
・バッテリーモード 省電力設定	86ページ
・ACモード 省電力設定	87ページ
・リジュームタイマー	88ページ
動作設定：	88ページ
パワースイッチ [サスペンド]	
パネルスイッチ [LCDオフ]	
PCカード電源 [オン]	
自動ハイバーネーション [無効]	
バッテリー設定：	89ページ
残量が少ないとき [サスペンド]	

本機および本書で使用する省電力用語について

（APMモードの場合）

Windows95上でサスペンドおよびハイバーネーションと呼んでいた機能を、Windows 98上ではそれぞれスタンバイおよび休止状態と呼びます。
以下に名称の違いをまとめています。

	メモリー以外の電源オフ	・メモリーの内容→ハードディスクへ保存 ・コンピューターの電源オフ
Windows 95	サスペンド	ハイバーネーション
Windows 98	スタンバイ	休止状態

「省電力設定」の設定画面および説明では、Windows 95の用語を使用しています。

必要なときに

◆バッテリーモード省電力設定

「省電力設定」画面で[バッテリーモード省電力設定]を選んで Enter を押す。

デフォルト設定時の画面例

バッテリーモード 省電力設定	
省電力モード	[省電力]
CPUスピード	２５%
エコモード タイムアウト*1	２分
サスペンド タイムアウト*1	１０分
LCDバックライト	省電力

＜省電力モード＞
バッテリーで使用するときの省電力モードを設定します。
「標準」「省電力」「ユーザー設定」より選択します。「標準」を選択すると処理速度重視の設定に、「省電力」を選択すると消費電力重視の設定になります。「ユーザー設定」を選択すると、各項目を下表の中から設定できます。これらの設定は、 Fn ＋ F8 で一時的に変更することができますが、起動時にはここで設定した内容で動作します。

	標準	省電力	ユーザー設定
CPUスピード	100%	25%	100%、75%、50%、25%、12.5%
エコモードタイムアウト*1	30分	２分	1分、2分、5分、10分、15分、30分、無効
サスペンドタイムアウト*1	無効	10分	1分、2分、5分、10分、15分、30分、無効
LCDバックライト	明	省電力	明、中、暗、省電力*2

*1 この機能は、Windows 98使用時には働きません。
*2「省電力」に設定すると、「暗」よりももう一段階暗くなります。

CPUスピード
CPUの動作速度を設定します。

エコモードタイムアウト
この機能はWindows 98使用時には働きません。

サスペンドタイムアウト
この機能はWindows 98使用時には働きません。

LCDバックライト
LCDバックライトの輝度を設定します。暗くするほど消費電力は小さくなります。

◆ACモード省電力設定

「省電力設定」画面で[ACモード省電力設定]を選んで Enter を押す。

デフォルト設定時の画面例

ACモード 省電力設定	
省電力モード	[標準　　　　　]
CPUスピード	１００％
エコモード タイムアウト[*1]	３０分
サスペンド タイムアウト[*1]	無効
LCDバックライト	明

[*1]この機能は、Windows 98使用時には働きません。

＜省電力モード＞

ACアダプター接続時の省電力モードを設定します。

各項目の設定については、「バッテリーモード省電力設定」と同じです。

86ページをご覧ください。

セットアップユーティリティー

◆リジュームタイマー

「省電力設定」画面で[リジュームタイマー]を選んで Enter を押す。
設定した時刻にサスペンドモードから復帰する機能です。「有効」「無効」から選択し、「有効」を選択した場合は復帰する時刻（時：分：秒）を入力します。デフォルト設定は無効です。

お願い

- 「パネルスイッチ」が「サスペンド」に設定されていて（→下記）、LCDパネルが閉じられている場合にはこの機能は働きません。リジュームタイマーを使用するときは「パネルスイッチ」の設定を「LCDオフ」にするか、LCDパネルを開けておいてください。
- リジュームタイマー機能は、ハイバーネーションモードからは復帰できません。「自動ハイバーネーション」機能を設定している場合、一定時間でハイバーネーションモードに入るため、設定時刻に復帰できないことがあります。

◆動作設定

＜パワースイッチ＞
電源オン時に、コンピューターの電源スイッチをスライドしたときの動作を設定します。「パワーオフ」「サスペンド」「ハイバーネーション」から選択します。

＜パネルスイッチ＞
パネルを閉じたときの動作を「LCDオフ」「サスペンド」から選択します。「サスペンド」を選択してLCDを閉じると、サスペンド状態になって電源表示ランプが緑色点滅します。LCDを開くとリジュームします。電源スイッチでリジュームさせることはできません。Windowsは独自で省電力を制御する機能を持っているため、サスペンドできない場合もあります。

お願い

「サスペンド」に設定している場合、電源表示ランプが緑色点滅するまで（完全にサスペンド状態に入るまで）はディスプレイを開けないでください。
途中でディスプレイを開けると、サスペンド状態に入ったままリジュームできなくなる場合があります。その場合は、再度ディスプレイを閉じた後、数秒たってからディスプレイを開けてください。

＜PCカード電源＞
サスペンド状態でのPCカードの電源の状態を設定します。「オフ」を選択すると、サスペンド中はPCカードの電源が強制的にオフ状態になります。（Windows98起動時は「オフ」を選択しなくても、通常、サスペンド中にPCカードの電源がオフになります。）

＜自動ハイバーネーション＞
サスペンド状態になってから、自動的にハイバーネーション状態になるまでの時間を設定します。「無効」「５分」「10分」「30分」「60分」「120分」から選択します。この機能はサスペンド状態になってから動作します。

◆バッテリー設定

＜残量が少ないとき＞
この機能は、Windows 98使用時には働きません。

スーパーバイザー設定

セットアップユーティリティーを起動して（→80ページ）、[スーパーバイザー設定]を選んで Enter を押す。
スーパーバイザーパスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。スーパーバイザーパスワードを入力してください。

デフォルト設定時の画面例

スーパーバイザー設定	
パラレルポート	[Port 378, IRQ 7]
動作モード	[双方向]
DMA	オフ
赤外線ポート	[Port 2F8, IRQ 3]
ASKモード	[無効]
DMA	[DMA 0]
シリアルポート	[Port 3F8, IRQ 4]
サウンドポート	[有効]
Sound Blaster互換I/O	[220h]
WSS CODEC I/O	[530h]
IRQ	[IRQ 5]
DMA-A	[DMA 7]
DMA-B (Sound Blaster)	[DMA 1]
USBポート	[有効]
起動ドライブ	[FDD→HDD]
・スーパーバイザーパスワード	44ページ
ユーザーパスワード保護	[無効]
PCI クロック制御*	[有効]

（*の項目はカーソルを下に移動して、画面をスクロールすると表示されます。）

[サウンドポート]
サウンドチップ動作を設定します。[無効]を選ぶと、サウンドに関する設定はすべて無効になります。

[サウンドポート：Sound Blaster互換I/O]
Sound Blaster互換モードのI/Oアドレスを設定します。

[サウンドポート：WSS CODEC I/O]
WSS CODECのI/Oアドレスを設定します。

[サウンドポート：IRQ]
サウンドチップのIRQを設定します。
パラレルポートと同じIRQは選ぶことができません。

[サウンドポート：DMA-A] [サウンドポート：DMA-B]
サウンドチップのDMAを設定します。お互いに、またパラレルポートや赤外線ポートのDMAと重ならないように設定してください。

パラレルポートのアドレスを設定します。
サウンドポートのIRQと重なった場合、自動的にサウンドポートIRQを別のIRQに変更します。

パラレルポートの動作モードを設定します。
[EPP]および[ECP]モードは、パラレルポート設定が[278]か[378]のときのみ選択することができます。

[パラレルポートの動作モード]を[ECP]に設定した場合のDMAチャネルを設定します。
[サウンドポート：DMA-A]や[サウンドポート：DMA-B]や赤外線ポートのDMAと重ならないように設定してください。

[赤外線ポート]
赤外線ポートのアドレスを設定します。
シリアルポートのアドレスと重なった場合は、自動的にシリアルポートのアドレスを別のアドレスに変更します。
[赤外線ポート：ASKモード]
[有効]に設定するとASKモードになります。
[無効]に設定するとIrDAまたはFIRモードになります。
[赤外線ポート：DMA]
赤外線ポートのDMAを設定します。サウンドポートやパラレルポートのDMAと重ならないように設定してください。

シリアルポートのアドレスを設定します。
赤外線ポートのアドレスと重なった場合、自動的に赤外線ポートのアドレスを別のアドレスに変更します。

USBポートの「有効」「無効」を設定します。
Windows 98使用時は、必ず「有効」に設定してください。

システムを起動するドライブを設定します。

ユーザーパスワードを無断で設定されたくない場合は、「有効」に設定します。

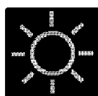
PCIクロック制御を行うかどうかを設定します。
CardBusカードが正常に動作しない場合は、「無効」に設定してみてください。

キーボードの操作

キーコンビネーション

Fn を押しながら下記のキーを押すことによって、特殊機能が有効になります。この操作を「ホットキー」と呼びます。

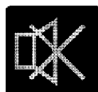
Fn ＋ F2 ：LCDバックライトの輝度を切り換えます。キーを押すごとに（暗→中→明→省電力）の順に輝度が切り換わります。
輝度が最大（明）のときには、下記のアイコンが表示されます。

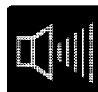


Fn ＋ F3 ：画面表示の表示先を切り換えます。キーを押すごとに（内部LCD→同時表示→外部ディスプレイ）の順に表示先が切り換わります。

・外部ディスプレイが接続されていない場合は切り換わりません。

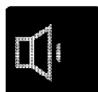
Fn ＋ F4 ：内蔵スピーカーから出る音を消します。再度押すと元に戻ります。また、Fn ＋ F5 あるいは Fn ＋ F6 が押されると、自動的にスピーカーオンの状態になります。状態は下図のように画面にアイコン表示されます。

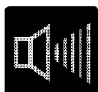

スピーカーオフ


スピーカーオン

Fn ＋ F5 ：内蔵スピーカーボリュームを下げます。

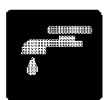
Fn ＋ F6 ：内蔵スピーカーボリュームを上げます。音量は下図のように画面にアイコン表示されます。

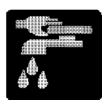

音量小

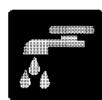

音量大

Fn ＋ F7 ：本機を休止状態にします。

Fn ＋ F8 ：省電力設定モードを切り替えます。キーを押すごとに、（省電力モード→ユーザー設定モード→標準モード）の順に省電力設定モードを切り換えます。状態は、下図のように画面にアイコン表示されます。


省電力モード


ユーザー設定モード


標準モード

Fn ＋ F9 ：バッテリーの充電状況が、画面にアイコン表示されます。詳しくは「画面に表示されるアイコンで確認する」(→32ページ)

Fn ＋ F10 ：Windows 98起動時に押した場合は、本機をスタンバイ状態にします。
MS-DOSモードで起動時に押すと、ハードディスクドライブモーターとディスプレイの電源のみが切れます。

お願い

- システム起動中、あるいはスタンバイや休止処理を実行中は一部のホットキーは使用できません。
- 高速なシリアル通信中などにホットキーを使用すると、通信エラーになることがあります。通信中はホットキーを使用しないでください。
- 音声再生、録音中にホットキーを使用すると、音がみだれることがあります。
- Fn ＋ F2 、Fn ＋ F3 、Fn ＋ F8 で変更した設定は一時的なものです。再起動後はセットアップユーティリティーで設定されている状態に戻ります。

キーボードの操作

特殊キー

Esc ：アプリケーションソフトによって機能が異なります。

ScrLK ：アプリケーションソフトによって機能が異なります。

NumLK ： Shift を押しながら押して、テンキーを有効にするかどうかを切り替えます。有効にするとテンキーを使って数字を入力できます。

NumLKインジケーター点灯時：テンキー有効
この状態で Fn を押しながら入力すると、テンキー無効になります。
NumLKインジケーター消灯時：テンキー無効
この状態で Fn を押しながら入力すると、カーソルや画面の移動キーとして使用できます。

Pause/Break ：プログラムの実行を中断します。続行する場合は、任意のキーを押してください。 Ctrl を押しながら押した場合は、プログラムの実行を中止します。

CapsLock/英数 ：英数字入力になります。 Shift を押しながら押した場合は、CapsLock状態に入ります。もう一度押すと、解除されます。CapsLock状態では、アルファベットキーを押すと、大文字入力になり、 Shift を押しながらアルファベットキーを押すと小文字入力になります。

Enter ：コンピューターに対して、コマンドやデータが入力されます。

Shift ：通常、このキーを押しながらアルファベットキーを押すと、大文字入力になります。また、このキーを押しながら数字キーか特殊キーを押すと、キートップの上部に印字されている記号が入力されます。

Ctrl ：このキーを押しながら他のキーを押すと、特殊機能が有効になります。このキーを押しながら他の特殊キーを押した場合、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

Alt ：このキーを押しながら他のキーを押すと、特殊機能が有効になります。このキーを押しながら他の特殊キーを押した場合、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

仕様

機種			CF-M32J8
CPU			MMX®テクノロジーPentium®プロセッサー166 MHz
メモリー	メインRAM*1		標準:32 Mバイト、最大:96 Mバイト(64 MバイトDIMM装着時)
	キャッシュメモリー		32 Kバイト(セカンドキャッシュ:256 Kバイト)
	ROM		256 Kバイト
	ビデオメモリー		2 Mバイト
ハードディスクドライブ			2.1 Gバイト(1Gバイト=10^9バイト表記)
表示機能	テキスト表示		80文字×25行
	グラフィック表示		タイプ:8.4 "(TFT) 解像度:800×600ドット 色数:262,144色
	漢字表示		日本語表示40文字×25行
入力装置	キーボード		総数88キー
	ポインティングデバイス		光学式トラックボール(直径16 mm)
インターフェース	I/Oボックス	プリンター	セントロニクス準拠Dsub 25ピン
		シリアル	RS-232C Dsub 9ピン
		外部キーボード マウス テンキーボード	PS/2タイプミニDIN6ピン
		ディスプレイ	アナログRGB Dsub 15ピン
		外付けFDD	専用26ピン
	音声		マイク入力(MICミニM3)×1 オーディオ出力(PHONESミニM3)×1
	赤外線通信ポート		IrDA1.1準拠(最大転送速度 4 Mbps)/ASK
	USBコネクター		Universal Serial Bus
カードスロット	PCカード専用		タイプII×2スロット またはタイプIII×1スロット Card Bus/ZV ポートサポート*2(3.3 Vで800 mA/5 Vで600 mA*3)
	RAMモジュール専用		1スロット
オーディオ機能			PCM音源(Sound Blaster Pro互換) FM音源 モノラルスピーカー搭載
時計機能			クロックバッテリーバックアップ 月差±60秒
電源	入力		DC 15.1 V(ACアダプター:入力AC100 V*4, 50/60 Hz)
	バッテリーパック		10.8 V(Li-Ion)
	消費電力*5		約26 W
バッテリー稼働時間			標準約2.5時間(省電力モード時)
外形寸法*6(幅×奥行×高さ)			225×172×36 (226×196×45)mm
質量			1.0 kg(標準バッテリー装着時)
使用環境条件			温度:5〜35 ℃ 湿度:30〜80 %RH(結露なきこと)
導入済みソフトウェア			Microsoft® Windows® 98,NIFTY Manager,IntelliSync® for Notebooks,Mouse Ware 8.02,各種ドライバー
フロッピーディスクドライブ*7			外付け1ドライブ3.5インチ(1.44 M/1.2 M/720 Kバイト)

*1 EDOおよびセルフリフレッシュのモジュールに限り増設可能。
*2 カードによっては、上段スロットで使用できないものもあります。
*3 2スロット合計の許容電流です。12 V電源を必要とするPCカードは使用できません。
*4 ACアダプター本体はAC240 Vまで対応。電源コードは、AC125 Vまで対応。
*5 電源オン時、バッテリー充電中の表記です。(電源オフ、バッテリー充電終了時、ACアダプターは約0.6 Wの電力を消費しています。また、電源オフ時のバッテリーの消費電力は約80 mWです。)
*6 デザインの都合上で高さが38 mmの部分があります。( )内はI/Oボックス装着時の寸法です。
*7 別売り商品です。

さくいん

必要なときに

必要なときに

メモ

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

保証とアフターサービス

修理･お取り扱い･お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- お買物･商品仕様･資料請求･その他ご相談は､｢お客様ご相談センター｣へ！
- 操作方法・技術的なお問い合わせは､｢テクニカルサポートセンター｣へ！
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
  （詳細は、102、103ページをご覧ください。）

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から１年間　(本体・I/Oボックスのみ)

■修理を依頼されるとき
『困ったときに開くページ』に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、パーソナルコンピューターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。
注）補修用性能部品とは､その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

必要なときに

- FPANAPC*1アクセスについてのご相談は、「Let's note Station」へ！
  *1 パソコン通信NIFTY SERVEのユーザーフォーラムでユーザーどうしによる情報交換などが行われています。
- Let's noteのホームページ*2では製品紹介、FAQなど情報掲載やご購入ユーザー様のご愛用者登録を行っております。
  *2[お気に入り]→[Panasonic お勧めのサイト]→[Lest's noteホームページ]

お買物・商品仕様・資料請求相談窓口

お客様ご相談センター

0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）365日／受付9時～20時

操作方法・技術相談窓口

パナソニックパソコン
テクニカルサポートセンター

0120-873029

受付日および時間
月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）10時～17時

ご来店技術相談窓口

Let's note Station

東京都千代田区外神田6丁目13番10号
（ミクニ・イーストビル2F）

TEL 03-3834-8896
E-mail asklets@cbdo.mei.co.jp

受付日および時間
月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）
10時～12時　12時45分～17時

必要なときに

保証とアフターサービス

ナショナル/パナソニック修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 ☎(011)894-1251 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	旭川 ☎(0166)31-6151 旭川市2条通21丁目左1号	函館 ☎(0138)48-6631 函館市西桔梗町589番地241（函館流通センター内）

東北地区

青森 ☎(0177)39-9712 青森市大字八ツ役字矢作1-27	岩手 ☎(019)639-5120 盛岡市羽場12地割30-3	山形 ☎(0235)41-6100 山形市流通センター3丁目12-2
秋田 ☎(0188)26-1600 秋田市御所野湯本2丁目1-2	宮城 ☎(022)375-2512 仙台市泉区市名坂字清水端50-2	福島 ☎(0243)34-1301 福島県安達郡本宮町字南ノ内65

首都圏地区

栃木 ☎(028)632-8450 宇都宮市中央1丁目3-12	千葉 ☎(043)251-3537 千葉市稲毛区園生町380-1	新潟 ☎(025)286-0171 新潟市東明1丁目3-14
群馬 ☎(0273)52-1217 高崎市貝沢町沖中205-13	船橋 ☎(047)334-5111 船橋市本中山6丁目11-7	佐渡 ☎(0259)23-2898 両津市秋津字堤103-1
両毛 ☎(0276)25-6870 太田市西新町2444	柏 ☎(0471)63-8905 柏市北柏1丁目9-8	長岡 ☎(0258)28-2111 長岡市寺島町308-12
水戸 ☎(029)225-0119 水戸市柳河町2004	東京 ☎(03)5477-9780 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	上越 ☎(0255)44-6371 上越市大字春日新田字大割52-3
つくば ☎(0298)54-8090 つくば市花畑2丁目3-1	山梨 ☎(0552)22-5171 甲府市下飯田2丁目1-27	
埼玉 ☎(048)726-8960 桶川市赤堀2丁目4-2	神奈川 ☎(045)847-9720 横浜市港南区日野5丁目3-18	

中部地区

石川 ☎(076)294-2683 石川県石川郡野々市町御経塚3丁目30	長野 ☎(0263)58-0073 松本市大字笹賀7600-7	岡崎 ☎(0564)55-5719 岡崎市岡町南入根23
富山 ☎(0764)32-6705 富山市寺島1298	静岡 ☎(054)287-9000 静岡市西島745	岐阜 ☎(058)323-6010 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
福井 ☎(0776)54-5606 福井市開発4丁目112	名古屋 ☎(052)614-3135 名古屋市南区西又兵ヱ町3丁目43	三重 ☎(059)255-1380 久居市森町字北谷1920-3



近　畿　地　区		
滋賀 ☎(0775)82-5021 守山市勝部町290	大阪 ☎(06)359-6225 大阪市北区本庄西1丁目1-7	和歌山 ☎(0734)75-1311 和歌山市中島400-1
京都 ☎(075)672-9636 京都市南区上鳥羽石橋町20-1	奈良 ☎(0743)59-2770 大和郡山市椎木町404-2	兵庫 ☎(078)272-6545 神戸市中央区港島南町3丁目2-6

中　国　地　区		
鳥取 ☎(0857)26-9695 鳥取市安長295-1	出雲 ☎(0853)21-3133 出雲市渡橋町416	広島 ☎(082)295-5011 広島市西区南観音3丁目13-20
米子 ☎(0859)34-2129 米子市米原4丁目2-33	浜田 ☎(0855)22-6629 浜田市下府町327-93	山口 ☎(0839)85-4050 山口市朝倉町字朝倉町団地北447-33
松江 ☎(0852)23-1128 松江市西津田2丁目10-19	岡山 ☎(086)292-1162 岡山県都窪郡早島町矢尾807	

四　国　地　区		
香川 ☎(087)874-6200 香川県綾歌郡国分寺町新名6834	高知 ☎(0888)65-3142 南国市岡豊町中島2311	愛媛 ☎(089)971-2144 松山市土居田町750-2
徳島 ☎(0886)98-1125 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや103		

九　州　地　区		
福岡 ☎(092)593-9036 春日市春日公園3丁目43	大分 ☎(0975)56-3815 大分市萩原4丁目8-25	鹿児島 ☎(099)250-5657 鹿児島市与次郎1丁目5-22
佐賀 ☎(0952)26-9151 佐賀市本庄町大字本庄309-2	宮崎 ☎(0985)85-6530 宮崎県宮崎郡清武町下加納228-2	大島 ☎(0997)53-5101 名瀬市矢之脇町10-5
長崎 ☎(095)830-1658 長崎市戸町1040-1	熊本 ☎(096)367-6067 熊本市健軍本町12-3	

沖　縄　地　区
沖縄 ☎(098)868-0131 那覇市西2-24-15

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0597

必要なときに



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検	長年ご使用のコンピューターの点検を！		
	こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った	▶ このような症状の時は故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグとバッテリーパックを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	品番	CF-M32J8
おぼえのため記入されると便利です。	販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　－	

松下電器産業株式会社　パーソナルコンピュータ事業部

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

FJ0798-1078

DFQM5229ZB